MAN-270B/M962C　KHV0　2025年12月22日発行

LIXIL

可動式日除け 彩風（あやかぜ）C型・CR型 電動系タイプ 取付け説明書

＊MAN270B＊

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
⚠注 意	●取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

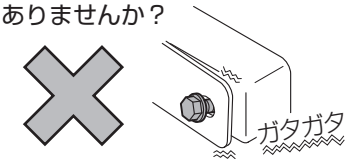
一般情報に関する記号	
ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補 足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

＜取付けされる方へのお願い＞

●組立て後、以下の項目通り施工されているか確認してください。

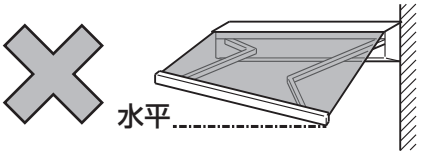
チェックシート　確認後チェック欄に☑マークしてください。

☐ ボルト・ねじのゆるみ、締め忘れはありませんか？



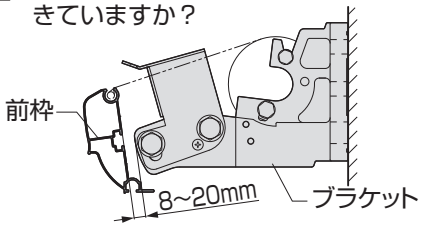
製品破損のおそれがあります。

☐ 前枠は水平になっていますか？

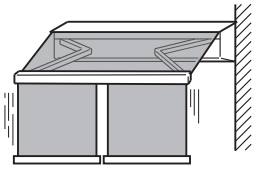


ケース内に収納できない場合があります。
アームがねじれ、開閉時に異音が発生する場合があります。

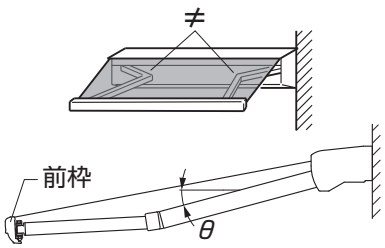
☐ 前枠の収納位置は所定の位置にきていますか？



☐ 彩風CR型の前枠スクリーンの巻き上げスピードを調整しましたか？

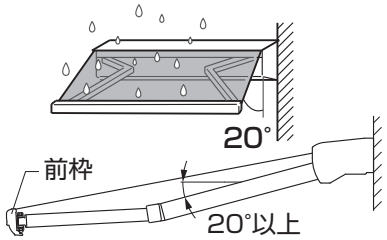


☐ アーム角度は左右同じになっていますか？



前枠が水平にならない場合があります。

☐ 雨天使用希望の場合、アーム角度を20度以上に設定しましたか？



キャンバスに水がたまる場合があります。

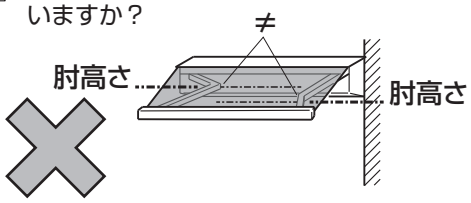
MAN-270B_202511
M962_202511C

＜取付けされる方へのお願い　つづき＞

チェックシート

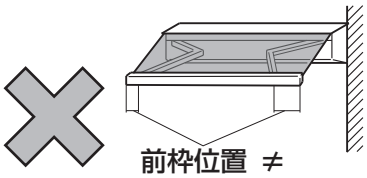
確認後チェック欄に ☑ マークしてください。

☐ アームの肘の高さは左右揃っていますか？



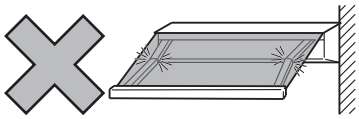
ケース内に収納できない場合があります。
アームがねじれ、開閉時に異音が発生する場合があります。

☐ アームの前枠への固定位置は左右で揃っていますか？



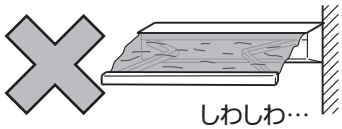
ケース内に収納できない場合があります。
アームがねじれ、開閉時に異音が発生する場合があります。

☐ キャンバスを最大に張り出したときアームが伸びきっていませんか？



キャンバスがたるみ、収納する力が重くなります。

☐ キャンバスに寄れやたるみはありませんか？



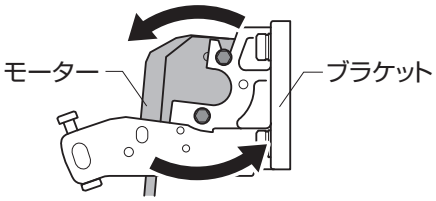
キャンバスに巻きじわができる場合があります。

☐ キャンバスのチューブを前枠に固定しましたか？



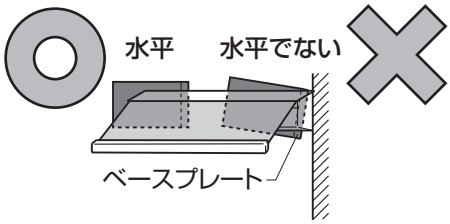
キャンバスがずれる場合があります。

☐ 電動・手動併用式の場合、クランクフックが回せるように、モーターのブラケットへの固定位置を調整しましたか？



アームの根元と干渉する場合があります。

☐ ベースプレートがある場合、躯体に水平に取付いていますか？

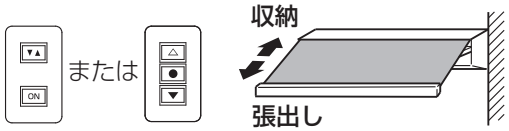


組立てできない場合があります。

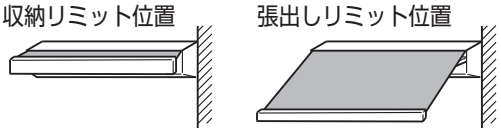
☐ 開閉操作は正しくできていますか？

電動スイッチ式

☐ スイッチが正しく作動しますか？



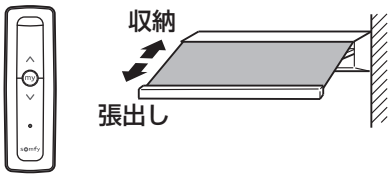
☐ 収納・張出しリミット位置は正しく設定されていますか？



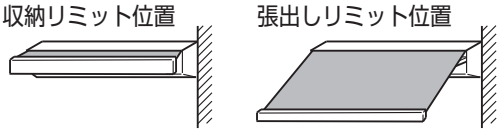
※リミット位置はP.30、P.31を参照してください。

電動リモコン式

☐ スイッチが正しく作動しますか？



☐ 収納・張出しリミット位置は正しく設定されていますか？



※リミット位置はP.32、P.33を参照してください。

MAN-270B_202511
M962_202511C

<取付けされる方へのお願い　つづき>

⚠ 注 意

●感電・漏電のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・モーター電源を直結させる場合の電気配線工事は必ず電気工事有資格者が行ってください。
・電源線の接続は、電気が通っていないことを確認してから行ってください。
●商品が落下・破損するおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・ブラケット・ベースプレートは、躯体の柱などの重量・使用に耐えられる構造材に直接取付けてください。
・指定のボルト・ねじで固定してください。
・コーチボルトφ9を使用する場合は、必ず構造材に45mm以上ねじ込んでください。付属のコーチボルトだと長さが足りない場合は、別途用意してください。
・アジャストアンカーφ10(オプション)を使用する場合は、必ずRC本体に45mm以上埋込んでください。
・スクリーンをピンと張った状態で限度テープが見えた場合は、見えない範囲にフック金具を固定し直してください。
・通気工法には専用の通気工法部品が必要です。外壁厚(通気層含む)が30mmを超える場所には取付けできません(30mmを超える場合は、躯体側で取付面製作をお願いします)。また、取付けにはベースプレートを必ず使用してください。
●強いスプリングでアームが伸びてケガをするおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・アームをブラケット・前枠に取付け終わるまで、アームバンドを外さないでください。
・アームバンドを外す際は、手で押さえてください。
●漏水のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・指定の個所（特に接続部）にコーキング材を充てんしてください。
・外壁の上から部材を取り付ける場合は、コーキング材を下穴に充てんしてからねじ止めしてください。
・本体取付け前に、ブラケットの周囲にコーキング材が充てんしていることを確認してください。
・シリコーンコーキング材を使用する場合は、当社指定の脱アルコール系コーキング材を使用してください。

コーキング材メーカー	品名および品番	LIXIL商品コード
信越化学工業(株)	シーラント72	WBJ□006 (□にはB・W・T・Kが入ります)
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380	
ダウ・東レ(株)	SE960	

●積雪地域ではベースプレートを通しで入れてください。製品破損のおそれがあります。
●製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。
・ボルト、ねじは弊社純正の規定本数を使い、右記締付けトルクを参照し、固定した後にゆるみがないか確認してください。
・製品の改造は絶対にしないでください。

■締付けトルク
φ4ねじ　：2.5N・m±0.5N・m　(25±5kgf・cm)
φ5ねじ　：3N・m±0.5N・m　(30±5kgf・cm)
M6ボルト　：5.2N・m±0.5N・m　(52±5kgf・cm)
M8ボルト　：12.5N・m±0.5N・m　(125±5kgf・cm)
M10ボルト：24.5N・m±0.5N・m　(245±5kgf・cm)

<取付け上のお願い>

●強風（20m/s以上）のとき、又は突風が予想される場合は、必ずキャンバスを巻取ってください。
●雨天時（大雨を除く）にもオーニングを使用したいお施主様の場合には、アーム角度を20°以上にして取付けてください。
●キャンバス生地・フリル生地は汚れ・キズが付きやすいので、特に取扱いに気を付けてください。
●特注寸法でご注文の場合、ケースセットなどは規格寸法品のため現場加工してください。
●**電動スイッチ式** **電動・手動併用式** **電動リモコン式** の場合、モーター（巻取りパイプ）は日影に入れて熱くならないようにしてください。

MAN-270A_202105
M962_202105B

タイプ一覧

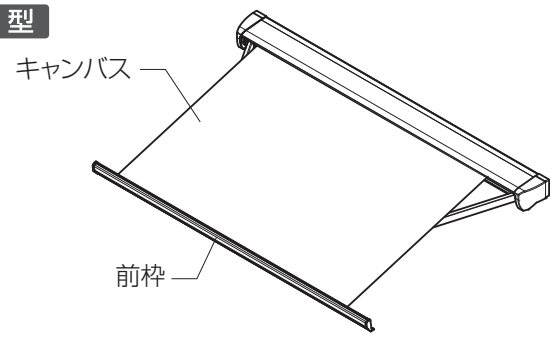
※本図は外観右側駆動の仕様になります。
※本図は躯体付け仕様の場合を示します。
　独立フレームに設置の場合、ジョイントボックスやスイッチなどは柱に固定し同様に配線してください。

【前枠タイプ】

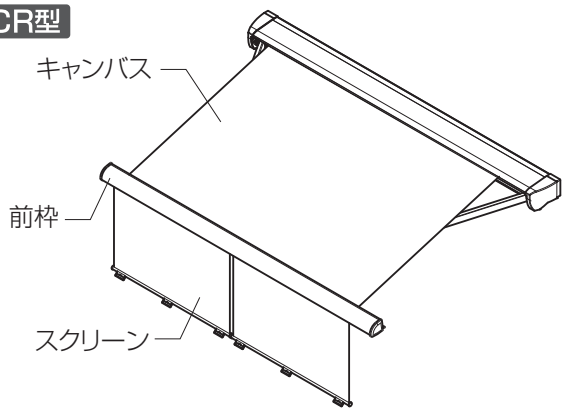
ポイント

●前枠部を除き、C型とCR型は同じ構造です。

C 型



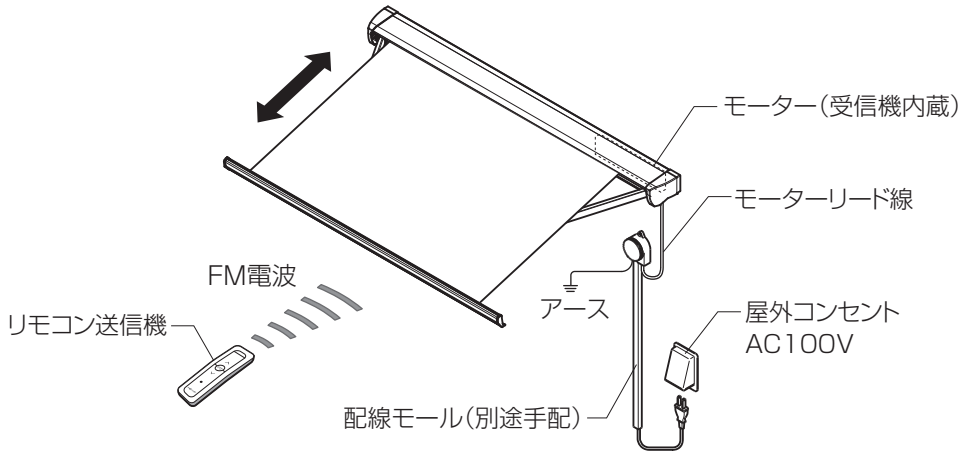
CR型



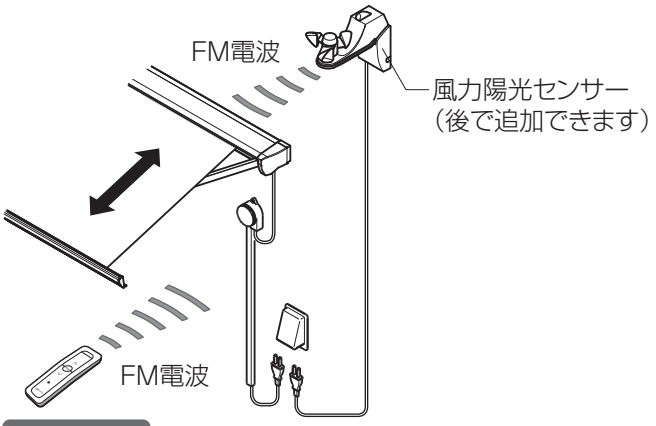
【駆動方式】 ※図はC型で示しています。

電動リモコン式

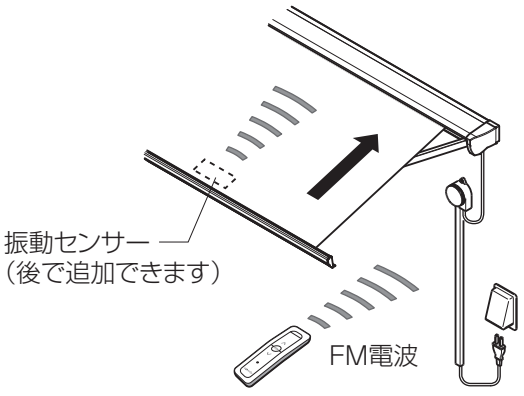
電動モーターをリモコンで操作して開閉します。



オプション [風力陽光センサーリモコン仕様]



オプション [振動センサーリモコン仕様]



ポイント

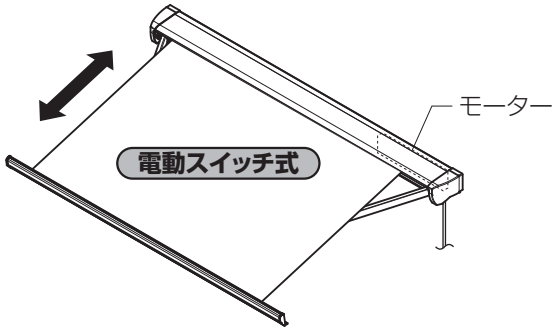
●センサーの併用はできません。どちらかの設置となります。

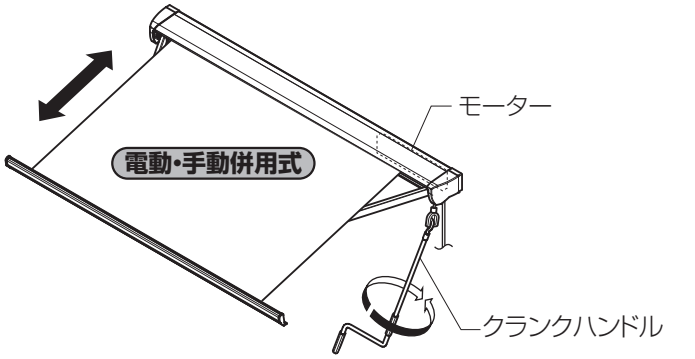
タイプ一覧

※本図は外観右側駆動の仕様になります。
※本図は躯体付け仕様の場合を示します。
　独立フレームに設置の場合、ジョイントボックスやスイッチなどは柱に固定し同様に配線してください。

電動スイッチ式　電動・手動併用式

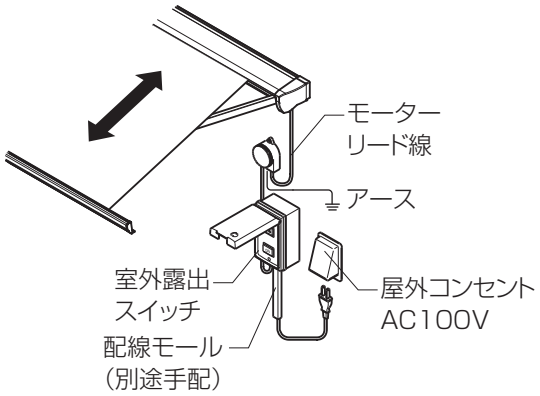
電動モーターをスイッチで操作して開閉します。



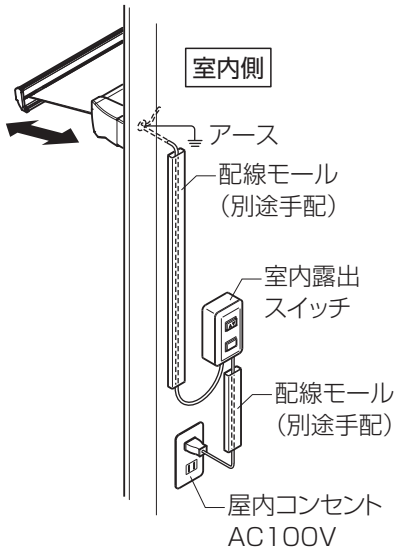


停電時にはクランクハンドルで開閉することもできます。

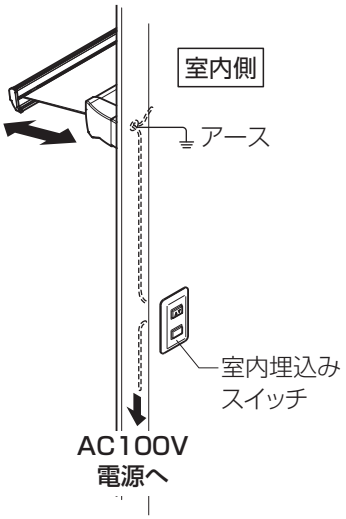
［室外露出スイッチ仕様］



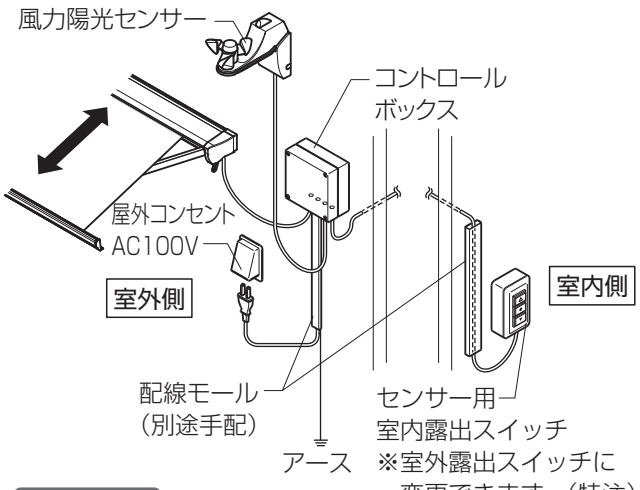
［室内露出スイッチ仕様］



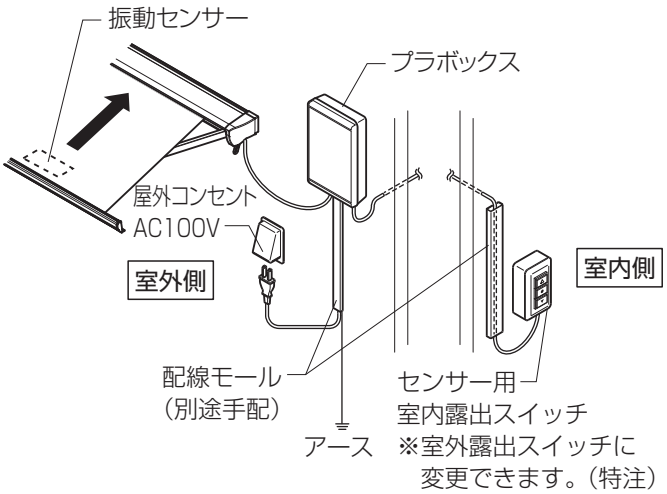
［室内埋込みスイッチ仕様］



オプション ［風力陽光センサースイッチ仕様］



オプション ［振動センサースイッチ仕様］



ポイント

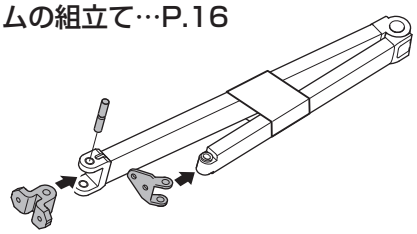
●センサーの併用はできません。どちらかの設置となります。

MAN-270B_202511
M962_202511C

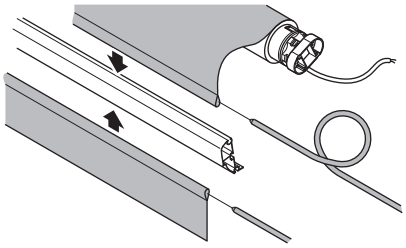
施工フロー

電動リモコン式

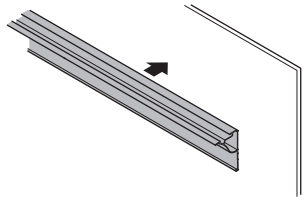
1アームの組立て…P.16



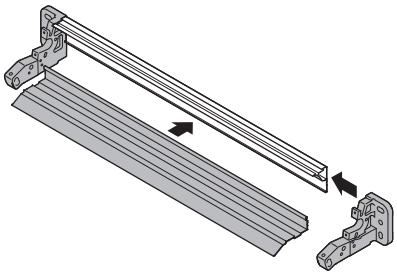
2前枠とキャンバス・フリル オプション の接続…P.16



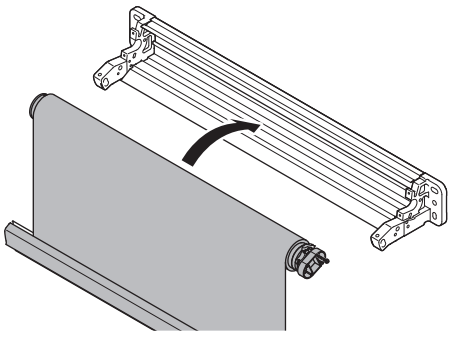
3上ケースホルダーの取付け…P.18



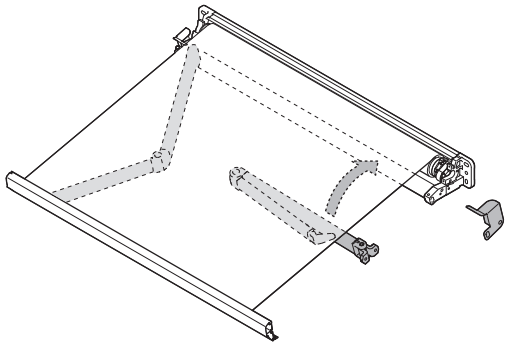
4ブラケットの取付け…P.20
5下ケースの取付け……P.20



6巻取りパイプの取付け…P.22



7アームの取付け…P.24



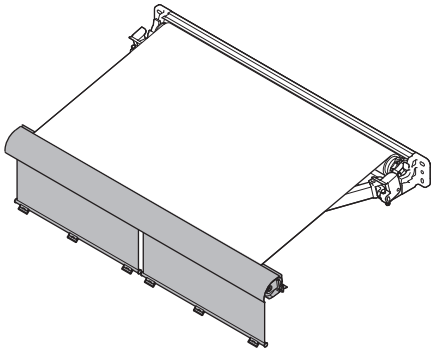
8電気配線…P.26

9納まりの確認・調整…P.27

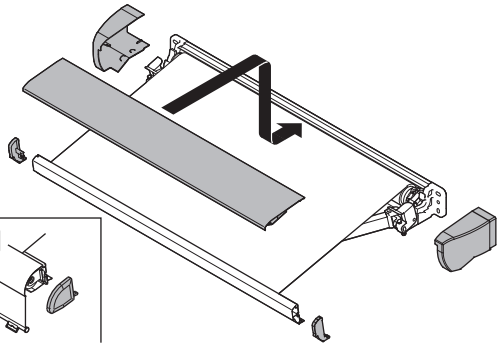
10開閉リミット（限界）調整…P.32

11キャンバスの固定…P.34

12 CR型 スクリーン前枠の取付け…P.34



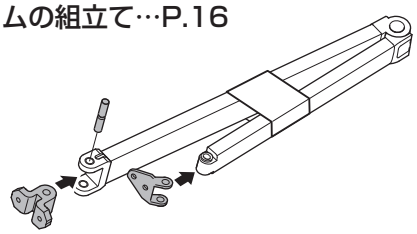
13上ケースの取付け…P.36
14キャップの取付け…P.37



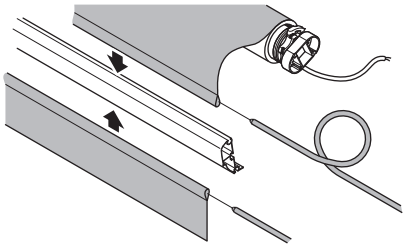
施工フロー

電動スイッチ式

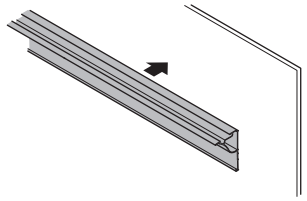
1アームの組立て…P.16



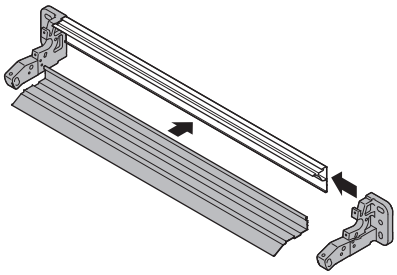
2前枠とキャンバス・フリル オプション の接続…P.16



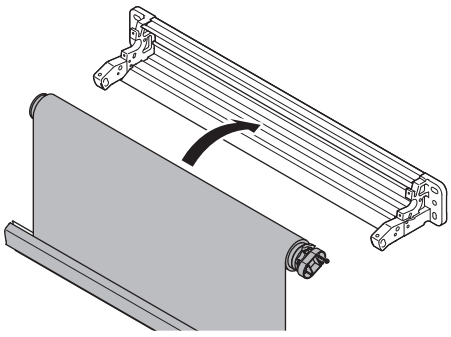
3上ケースホルダーの取付け…P.18



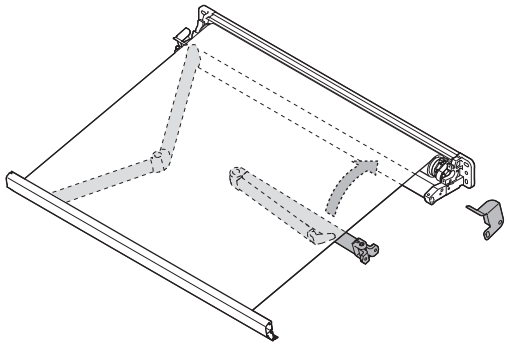
4ブラケットの取付け…P.20
5下ケースの取付け……P.20



6巻取りパイプの取付け…P.22



7アームの取付け…P.24



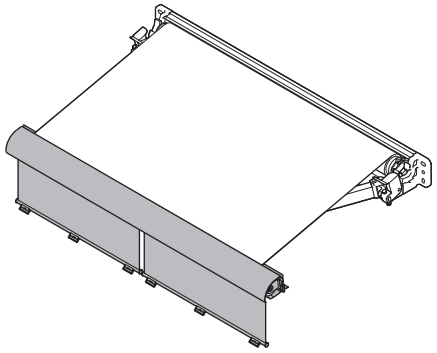
8電気配線…P.26

9納まりの確認・調整…P.27

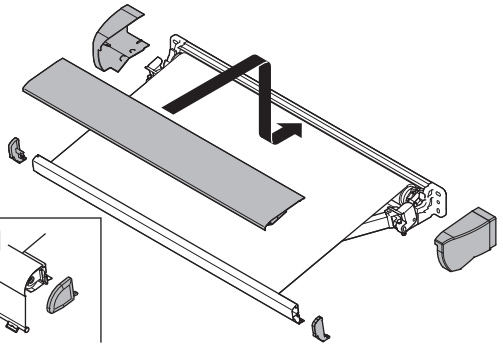
10開閉リミット（限界）調整…P.30

11キャンバスの固定…P.34

12 CR型 スクリーン前枠の取付け…P.34



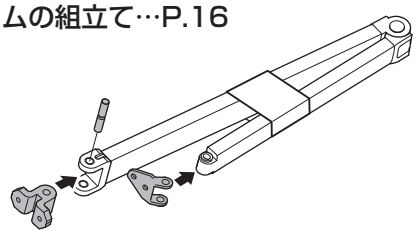
13上ケースの取付け…P.36
14キャップの取付け…P.37



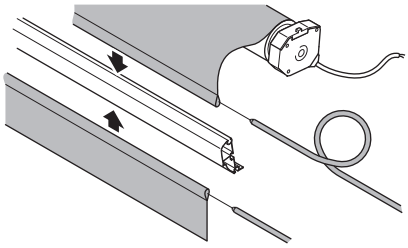
施工フロー

電動・手動併用式

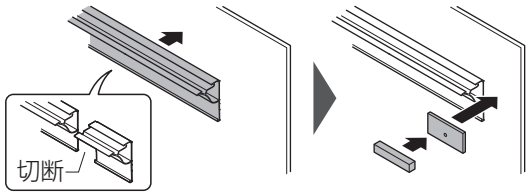
1アームの組立て…P.16



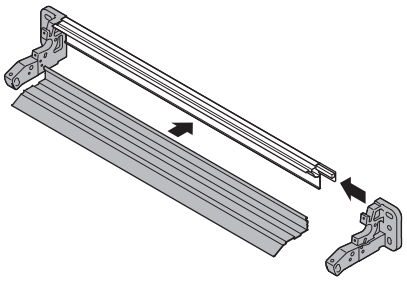
2前枠とキャンバス・フリル オプション の接続…P.16



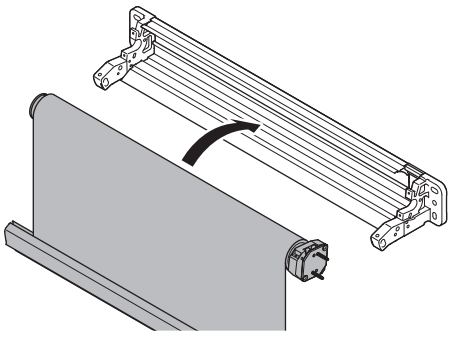
3上ケースホルダーの取付け…P.19



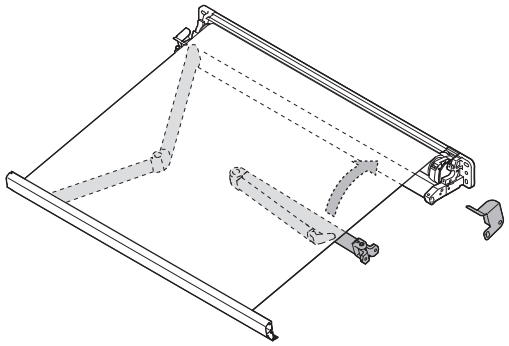
4ブラケットの取付け…P.20
5下ケースの取付け……P.20



6巻取りパイプの取付け…P.23



7アームの取付け…P.24



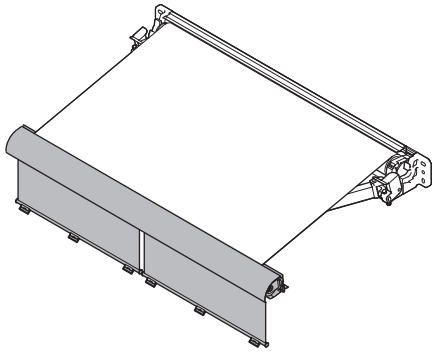
8電気配線…P.26

9納まりの確認・調整…P.27

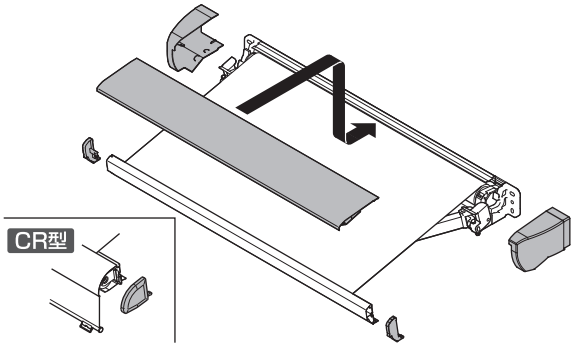
10開閉リミット（限界）調整…P.30

11キャンバスの固定…P.34

12 CR型 スクリーン前枠の取付け…P.34

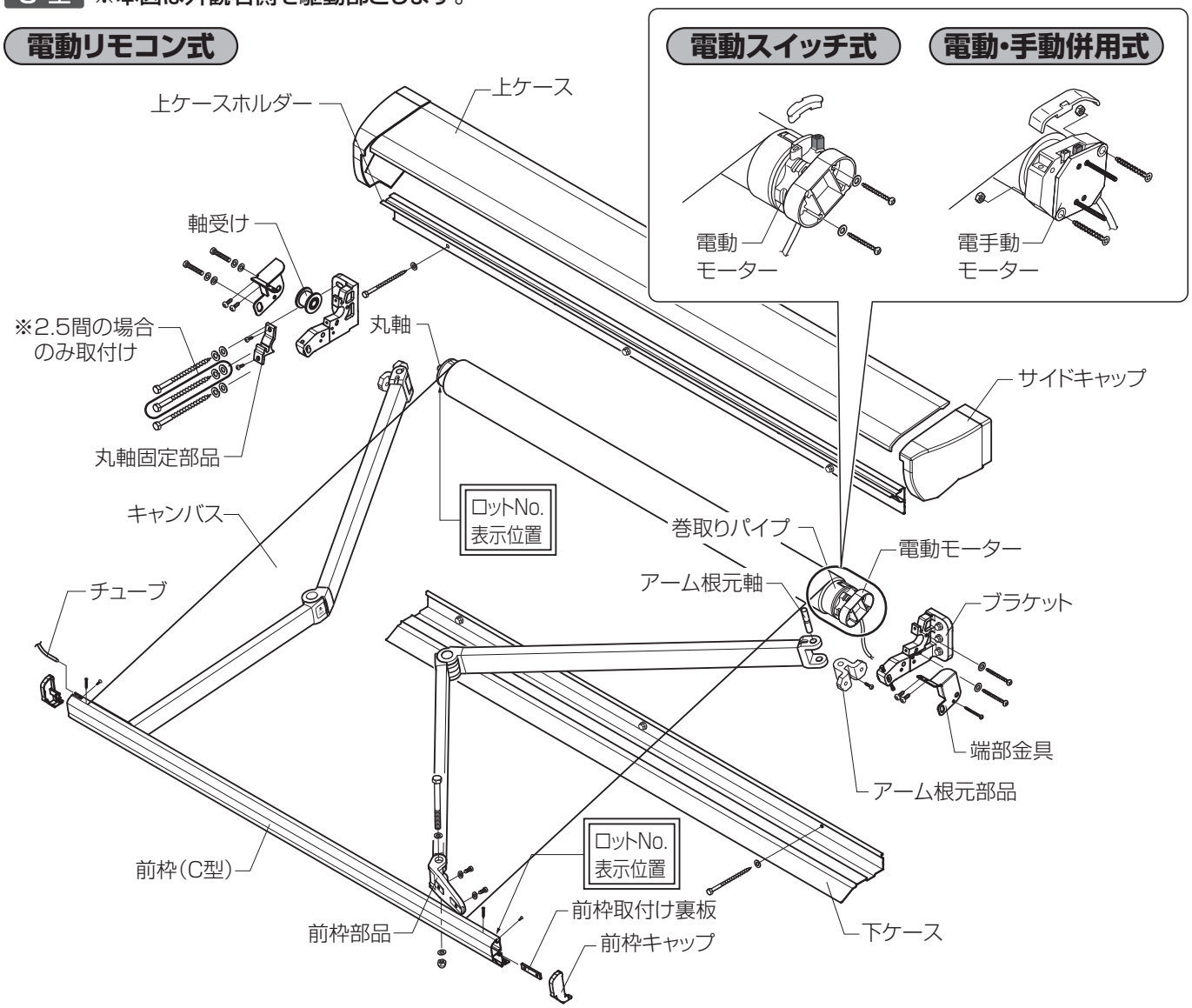


13上ケースの取付け…P.36
14キャップの取付け…P.37

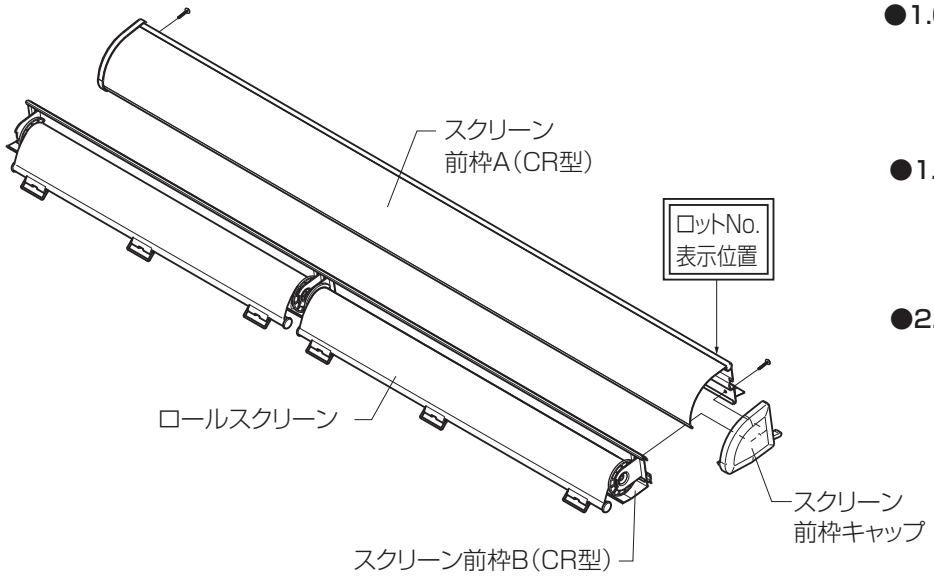


構造説明図

C 型 ※本図は外観右側を駆動部とします。



CR型 前枠部　※CR型はC型と前枠部以外は同一です。

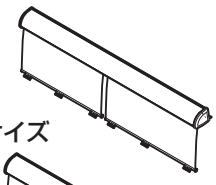


■ロールスクリーンの本数

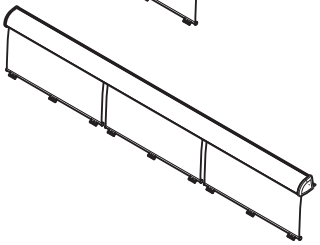
●1.0間サイズ



●1.5･2.0間サイズ

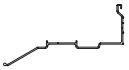


●2.5間サイズ



梱包明細表

【1】ケースセット

名　　称	略 図	員 数	
		1.0~2.0間	2.5間
上ケース		1	1
上ケースホルダー		1	1
下ケース		1	1
前枠 A		1	—
前枠 B		—	1
スクリーン前枠A(CR型用)	—	1	1
【1-1】φ9×100六角コーチボルト	—	—	2
【1-2】M10平ワッシャー	—	—	2
【1-3】M10スプリングワッシャー	—	—	2

【2】本体セット（電動）

名　　称	略 図	員 数
アームA (L·R)		各1
本体セット		1
φ6チューブ(ポリエステル生地の場合)	—	1
φ5.5チューブ(アクリル生地の場合)	—	1

【3】本体セット（リモコン式）

名　　称	略 図	員 数
アームA (L·R)		各1
リモコン送信機		1
本体セット		1
ジョイントボックス		1
φ6チューブ(ポリエステル生地の場合)	—	1
φ5.5チューブ(アクリル生地の場合)	—	1
5m電線セット	—	1

補 足

リモコンは本イラストとデザインが異なる場合がありますが機能、操作、設定方法に変更はありません。

【4】本体セット（電手動式）

名　　称	略 図	員 数
アームA (L·R)		各1
本体セット		1
φ6チューブ(ポリエステル生地の場合)	—	1
φ5.5チューブ(アクリル生地の場合)	—	1
電手動タイプバックアップ材	—	1
電手動モーター用スペーサーC型用	—	1
電手動モーター用スペーサーS型右駆動用	—	1
電手動モーター用スペーサーS型左駆動用	—	1
電手動モーター用クランクフック	—	1
電手動タイプ位置出し材	—	1
【4-1】φ6×35皿タッピンねじ3種	—	4
【4-2】φ6×30ナベ小ねじ	—	2
【4-3】φ4×25ナベタッピンねじ1種	—	1
【4-4】M6六角ナット	—	2

【5】ベースプレートセット

名　　称	略 図	員 数		
		L=215	L=600	L=3,330 4,240 5,150
ベースプレートC·CR型用		2	2	1
ベースプレート端部キャップ C·CR型用		4	4	—
【5-1】φ8×90六角コーチボルト	—	—	8	—
【5-2】φ9×100六角コーチボルト(ねじ部80)	—	4	—	—
【5-3】M10用平ワッシャー	—	4	8	—
【5-4】M10×30六角ボルト	—	4	4	—
【5-5】M10平ワッシャー(生地色)	—	4	4	—
【5-6】M10スプリングワッシャー	—	4	4	—
【5-7】φ4×10ナベタッピン3種(D=7)	—	4	4	—
【5-8】M10用六角ナット	—	4	4	—

【6】ベースプレートキャップセット

名　　称	略 図	員 数
ベースプレート端部キャップ C·CR型用		2
【6-1】φ4×10ナベタッピン3種(D=7)	—	2

【7】ベースプレートねじセット

名　　称	員 数		
	L=3330	L=4240	L=5150
【7-1】φ8×90六角コーチボルト	11	13	15
【7-2】M10用平ワッシャー(色付)	11	13	15
【7-3】M10×30六角ボルト	4	4	4
【7-4】M10スプリングワッシャー	4	4	4
【7-5】M10用六角ナット	4	4	4
【7-6】M10平ワッシャー(生地色)	4	4	4

MAN-270A_202105
M962_202105B

梱包明細表

【8】ブラケットセット

名　　称	略　図	員　数	
		C型	CR型
C型ブラケットセット (L·R)		各1	各1
C型前枠キャップ (L·R)		各1	—
スクリーン前枠キャップ (L·R)		—	各1
C·CR型サイドキャップ (L·R)		各1	各1
前枠取付裏板		2	2
軸受		1	1
丸軸固定部品		1	1
アーム根元部品		2	2
前枠部品		2	2
端部金具(C·CR型) (L·R)		各1	各1
【8-1】M6×55六角ボルト	—	2	
【8-2】M6平ワッシャー	—	17	
【8-3】M6六角ナット	—	2	
【8-4】φ9×100六角コーチボルト	—	4	
【8-5】φ6×70六角コーチボルト	—	10	
【8-6】φ5×12トラスタッピンねじ3種	—	6	
【8-7】φ5×35ナベタッピンねじ2種(G=5)	—	2	
【8-8】φ4×16ナベドリルねじ	—	4	2
【8-9】φ5×14ナベタッピン3種	—	4	
【8-10】M8×20六角ボルト	—	4	
【8-11】M6×12六角ボルト	—	4	
【8-12】M10×40六角ボルト	—	4	
【8-13】M10平ワッシャー	—	10	
【8-14】M10スプリングワッシャー	—	10	
【8-15】M10×55六角ボルト(ねじ部30)	—	2	
【8-16】M10用六角袋ナット	—	2	
【8-17】φ5×10ナベタッピン2種	—	2	
【8-18】φ4×8トラスタッピンねじ3種	—	—	2
可動式日除け取扱い説明書	—	1	
C型·CR型取付け説明書(手動タイプ)	—	1	
C型·CR型取付け説明書(電動系タイプ)	—	1	

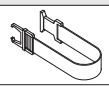
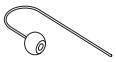
【9】クランクハンドル（電手動式）

名　　称	略　図	員　数
クランクハンドル		1

【10】CR型ロールセット

名　　称	略　図	員　数
前枠ロールスクリーン		1

【11】取付バンドセット

名　　称	略　図	員　数
取付バンド		2
プルロープ		1

【12】フック金具セット

名　　称	略　図	員　数
土間フック金具		1
【12-1】φ5×45皿セルフタップアンカー	—	2
【12-2】φ5×50タッピンねじ1種	—	2

【13】埋込みフックセット

名　　称	略　図	員　数
埋込みフック金具		2
埋込みフックケース		2
【13-1】M6×40ナベ小ねじ	—	2
【13-2】M6用平ワッシャー	—	2
【13-3】M6用袋ナット	—	2
【13-4】φ4×55皿タッピンねじ1種	—	4

【14】スイッチボックス（電動式）

名　　称	略　図	員　数		
		室外露出用	室内埋込用	室内露出用
スイッチボックス	—	1	1	1
電源プラグ付き電線コード(3m)	—	1	1	1
電線コード(5m)	—	1	1	1
ジョイントボックス	—	1	—	—
圧着接続端子	—	3	4	3
ML端子棒	—	—	1	—
【14-1】φ4×18ナベタッピン1種	—	2	2	2
壁スイッチ電気工事説明書	—	1	1	1

【15】フリルセット

名　　称	略　図	員　数
フリル(ストレート形)	—	1
φ6チューブ(ポリエステル生地の場合)	—	1
φ5.5チューブ(アクリル生地の場合)	—	1

【16】13mmスペーサーセット

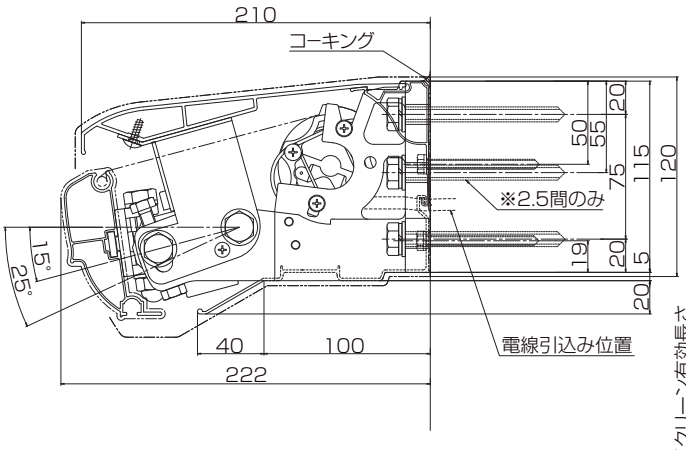
名　　称	略　図	員　数
13mmスペーサー(φ7穴付き)	—	5
クッション材(H15×W10×L2000)	—	3

MAN-270B_202511
M962_202511C

断面納まり図

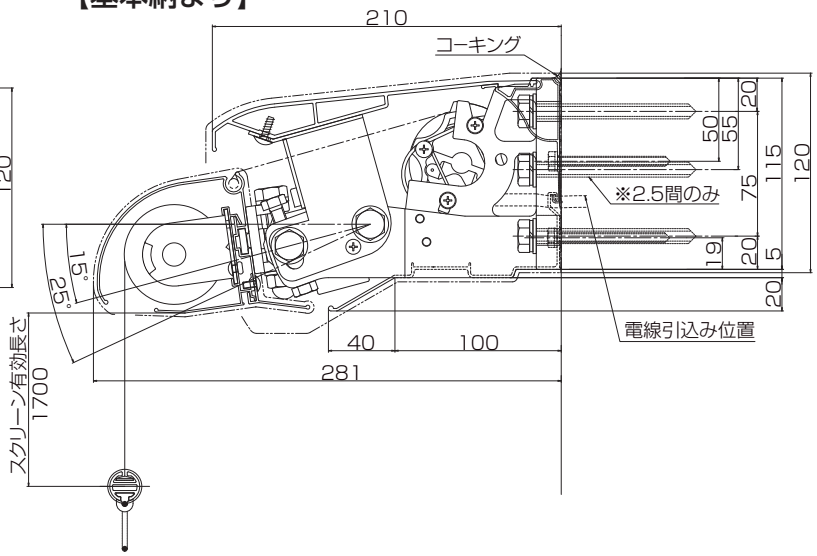
C 型 ※図は外観右側駆動になります。

【基本納まり】

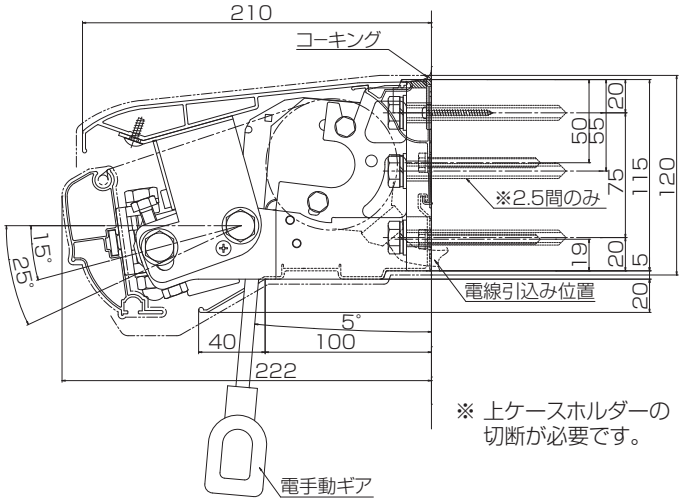


CR型

【基本納まり】

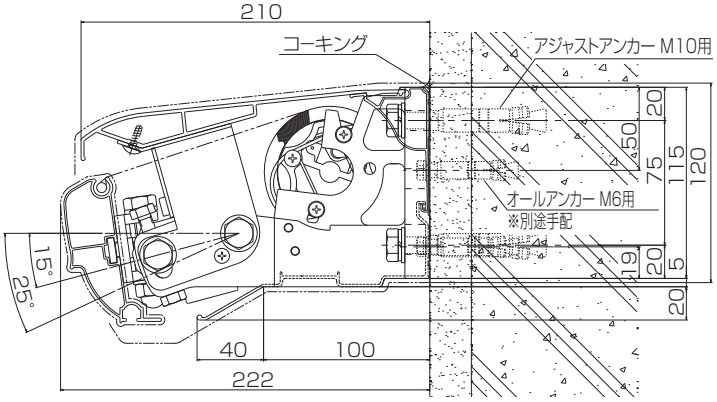


【 電動・手動併用式 】



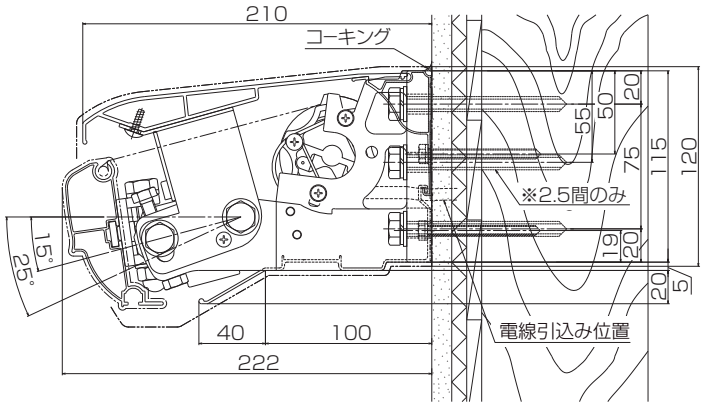
※ 上ケースホルダーの
切断が必要です。

【RC納まり オプション】

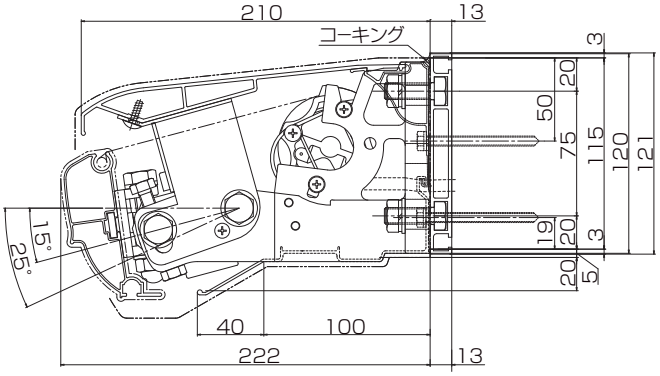


※ ブラケット部は2箇所固定(M10用)
※上ケースホルダー、下ケースは
M6用で固定

【木造納まり】

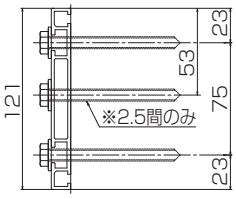


【ベースプレート納まり オプション】



※ CR型はC型と前枠部以外は同一です。

[躯体柱取付部]
※ 片支持の場合



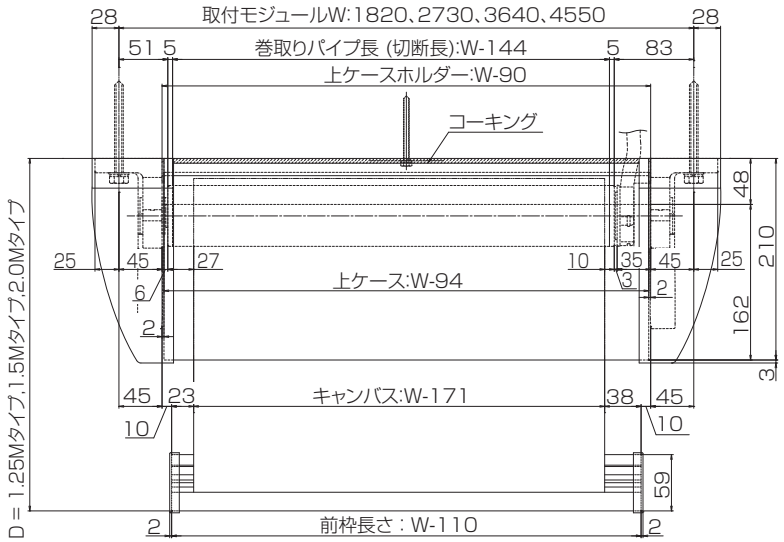
MAN-270B_202511
M962_202511C

平面納まり図

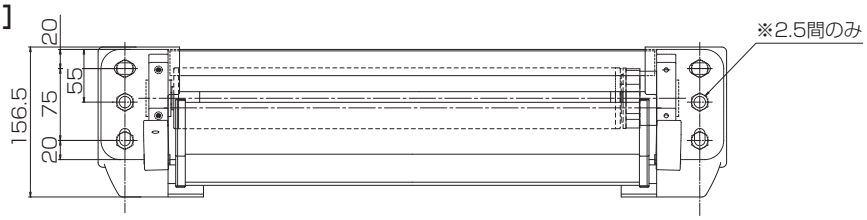
【 電動スイッチ式 電動リモコン式 右駆動 の場合】 ※ 左駆動 の場合は左右対称です。

C 型

［平面図］

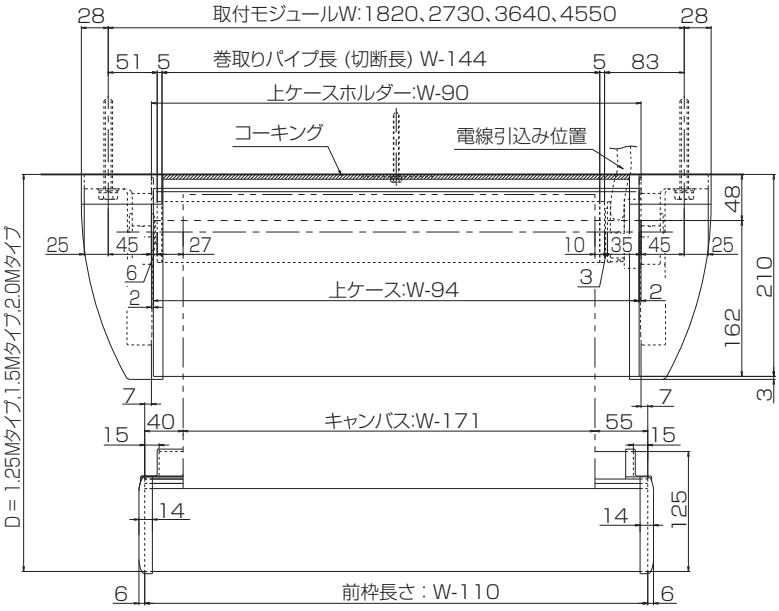


［正面図（収納時）］

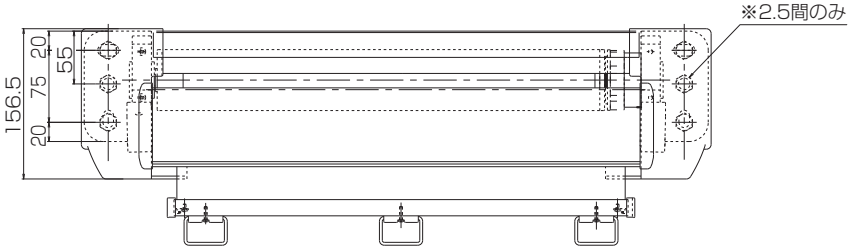


CR型

［平面図］



［正面図（収納時）］



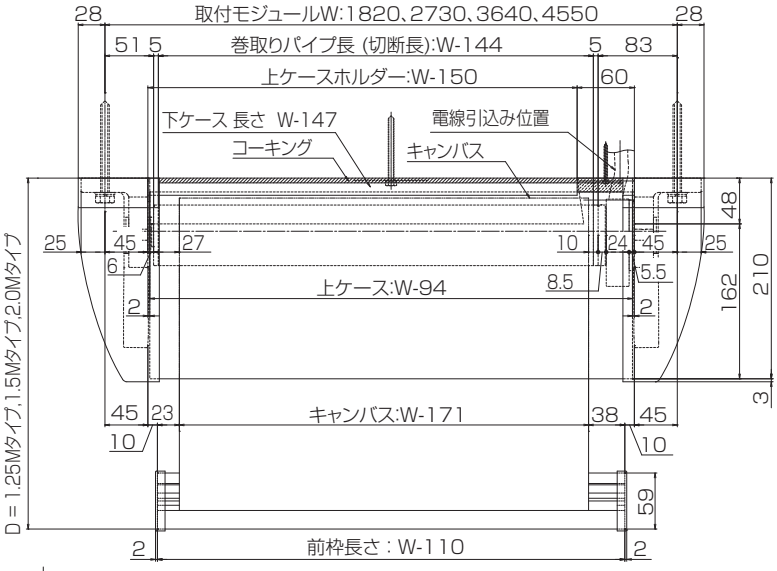
MAN-270B_202511
M962_202511C

平面納まり図

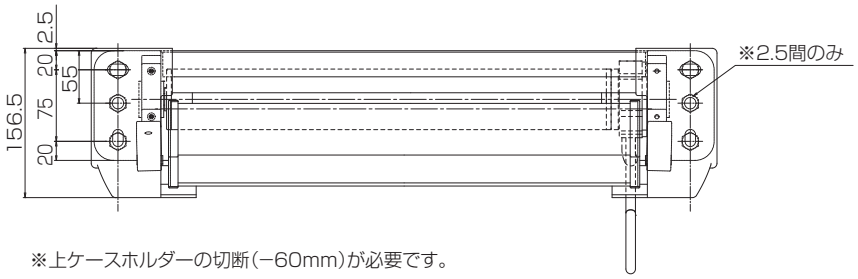
【 電動・手動併用式 右駆動 の場合】 ※ 左駆動 の場合は左右対称です。

C 型

[平面図]



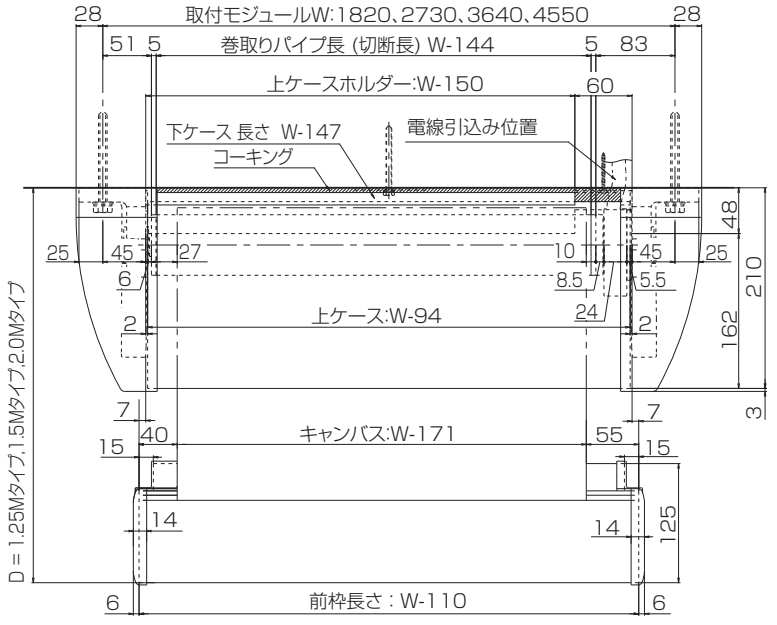
[正面図 (収納時)]



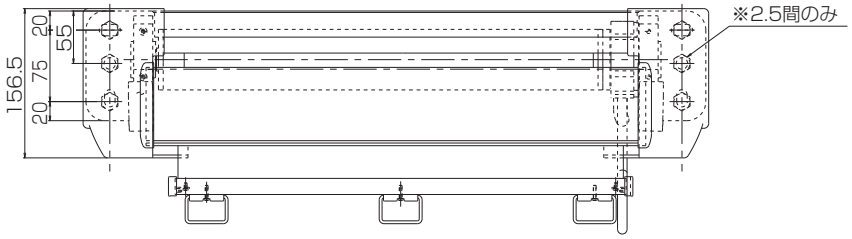
※上ケースホルダーの切断(−60mm)が必要です。

CR型

[平面図]



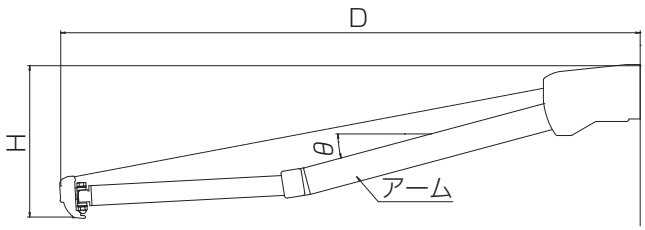
[正面図 (収納時)]



MAN-270B_202511
M962_202511C

出幅とこう配の関係（こう配寸法）

[側面図(張りだし時)]



C 型 H・D寸法（数値は参考値）　(単位:mm)

出幅 / θ角度	1.25m		1.5m		2m	
	D	H	D	H	D	H
15°	1223	279	1483	318	1960	396
20°	1203	376	1458	437	1927	556
25°	1175	471	1424	555	1880	714

CR型 H・D寸法（数値は参考値）　(単位:mm)

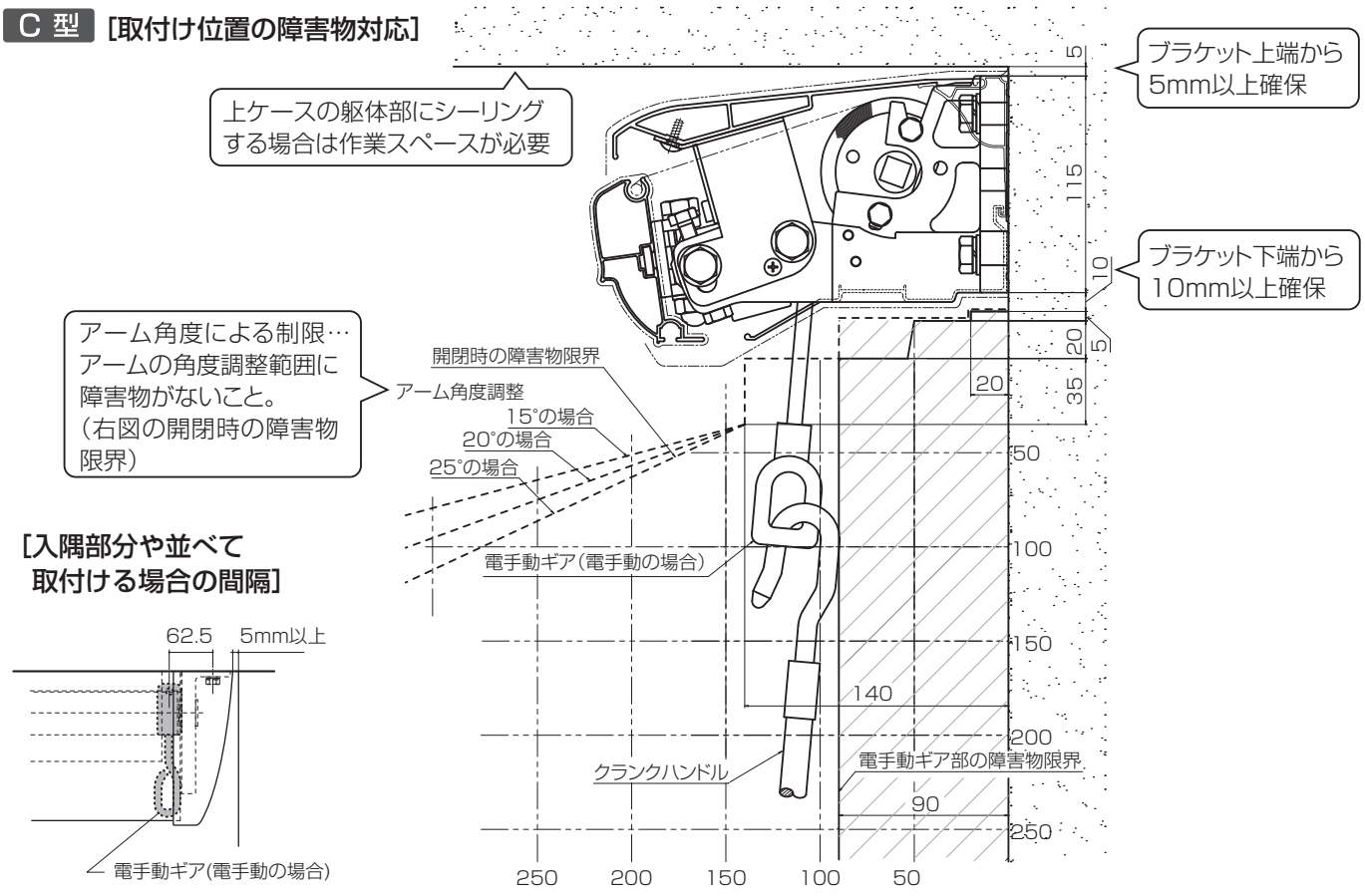
出幅 / θ角度	1.25m		1.5m		2m	
	D	H	D	H	D	H
15°	1283	279	1543	318	2020	396
20°	1259	374	1514	435	1983	554
25°	1226	468	1475	552	1931	711

取付け位置の障害物確認

ポイント

●取付け位置の上下に障害物があると取付けられないことがありますので、下記を確認してください。

C 型 [取付け位置の障害物対応]



[入隅部分や並べて取付ける場合の間隔]

補 足

●電手動ギア・クランクハンドルは**電動・手動併用式**専用の事項です。

●上記以外は**電動・手動併用式** **電動スイッチ式** **電動リモコン式** 共通事項です。

MAN-270B_202511
M962_202511C

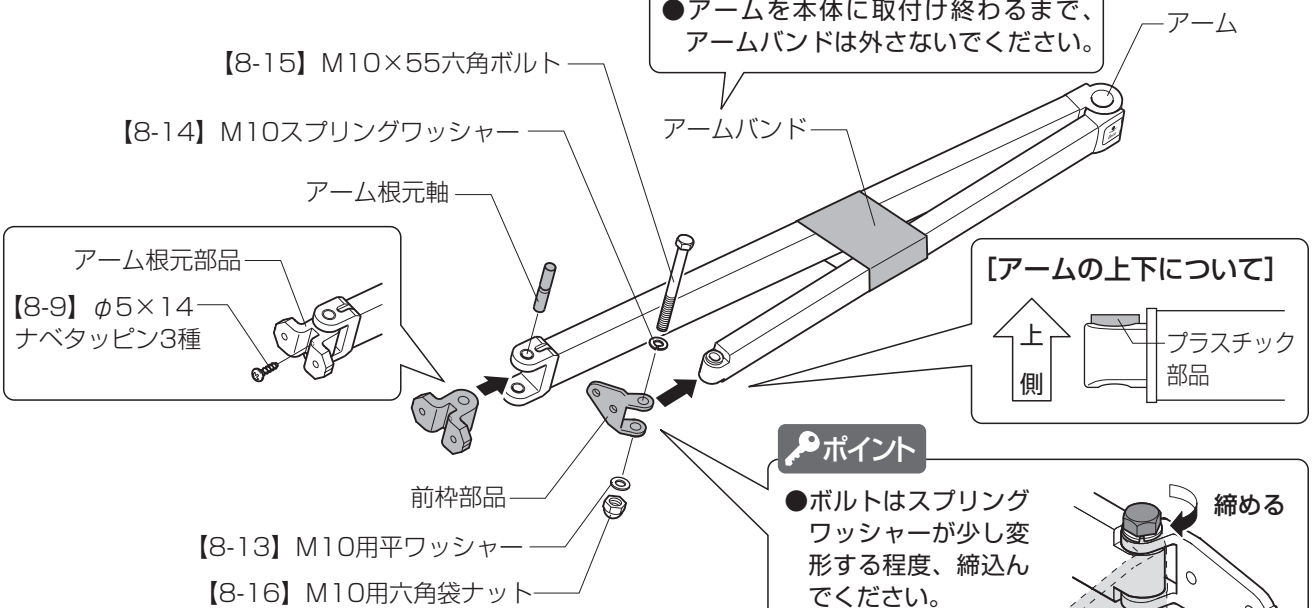
取付け手順 1アームの組立て ▶ 2前枠とキャンバス・フリル オプション の接続

1アームの組立て ※図は外観左用のアームを示します。

①アーム根元部品をアームの先端にはめてください。
②アーム根元軸を穴に挿入し、【8-9】で固定してください。
③前枠部品をもう一方のアームの先端に【8-13】、【8-14】、【8-15】、【8-16】で取付けてください。

ポイント
●アームには左右があります。アームに貼ってある『右』『左』のシールを確認の上、作業を行なってください。

注 意
●アームを本体に取付け終わるまで、アームバンドは外さないでください。

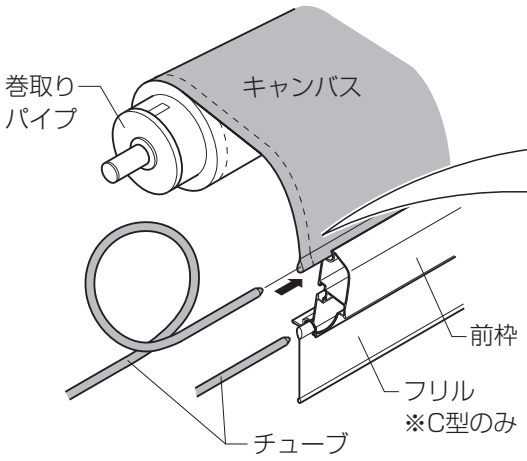


ポイント
●ボルトはスプリングワッシャーが少し変形する程度、締込んでください。
●開閉時に音鳴りがする場合は、少しゆるめてください。

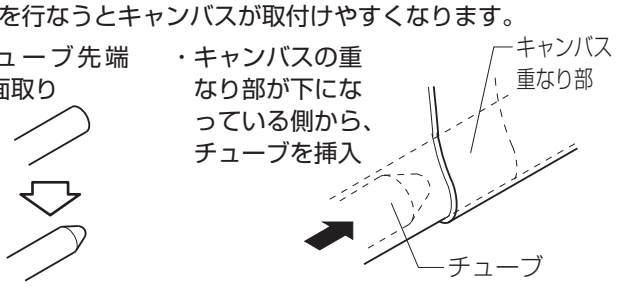
2前枠とキャンバス・フリル オプション の接続

2-1 キャンバス・フリル オプション の取付け

①キャンバスの端を前枠に差込んでください。
②キャンバスを前枠に組込みながら、チューブを挿入してください。



補 足
[キャンバスの取付け方について]
●下記を行なうとキャンバスが取付けやすくなります。
・チューブ先端の面取り
・キャンバスの重なり部が下になっている側から、チューブを挿入



MAN-270_201507
M962_201507A

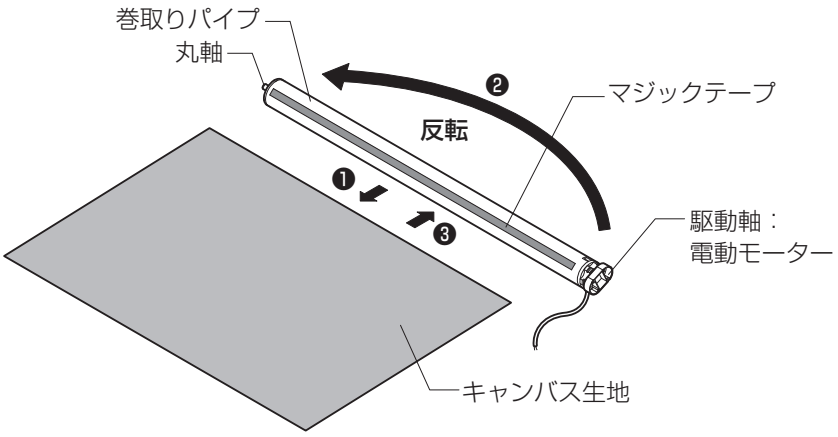
取付け手順 2前枠とキャンバス･フリル オプション の接続 ▶ 3上ケースホルダーの取付け

2-2 駆動側を変更する場合 ※現場にて駆動位置を変更する場合の作業です。

補 足

●下図は外観右駆動を左駆動に変更する場合を示しています。
●巻取りパイプの左右を反転し駆動位置を変更します。

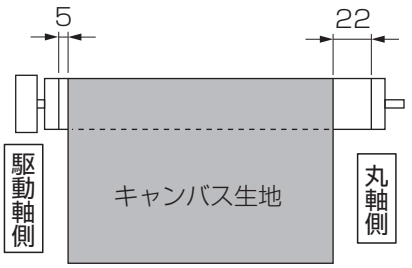
①巻取りパイプからキャンバス生地を外してください。
②巻取りパイプを左右反転してください。
③巻取りパイプにキャンバス生地を取付けてください。



ポイント

●キャンバス生地はシワが出ないよう取付けてください。

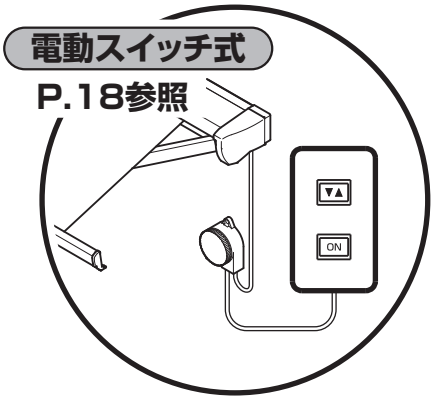
左駆動 の場合 [キャンバス取付位置]

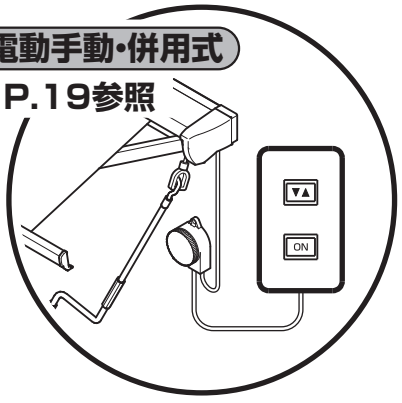


3上ケースホルダーの取付け

「3上ケースホルダーの取付け」は、
「駆動方式」により異なります。
対応する項目を参照の上、作業を行なってください。







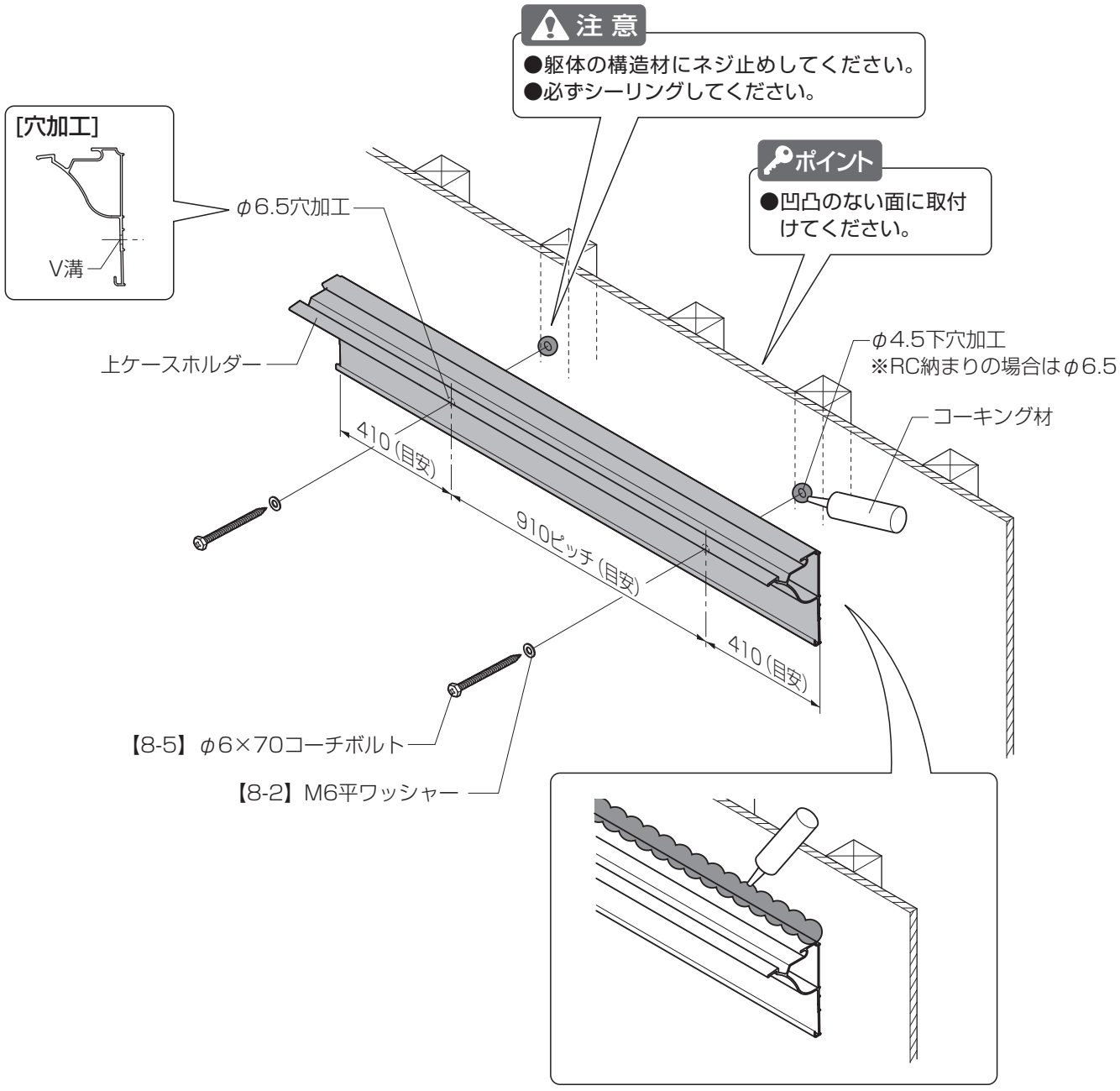
補 足

リモコンは本イラストとデザインが異なる場合がありますが機能、操作、設定方法に変更はありません。

取付け手順 3上ケースホルダーの取付け

電動リモコン式 **電動スイッチ式**

①上ケースホルダーにφ6.5穴加工をしてください。
②躯体にφ4.5の下穴加工をし、シーリングしてください。
③上ケースホルダーを躯体に【8-2】、【8-5】で取付けてください。
④上ケースホルダーにシーリングしてください。



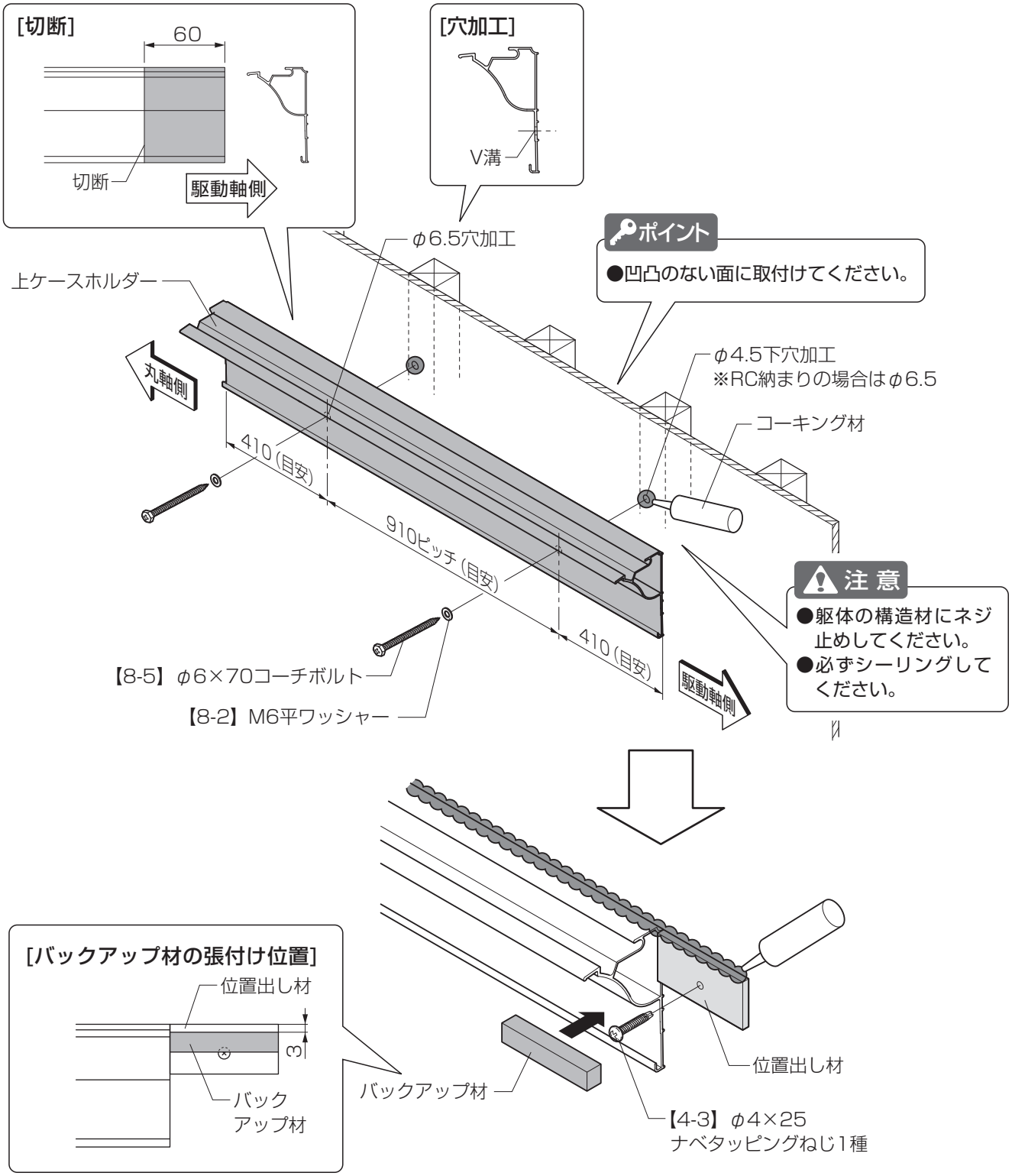
作業が終わったら、
「4ブラケットの取付け（P.20）」へ進んでください。

MAN-270B_202511
M962_202511C

取付け手順 3上ケースホルダーの取付け

電動・手動併用式 **※図は外観 右駆動 を示します。外観 左駆動 も同様に作業してください。**

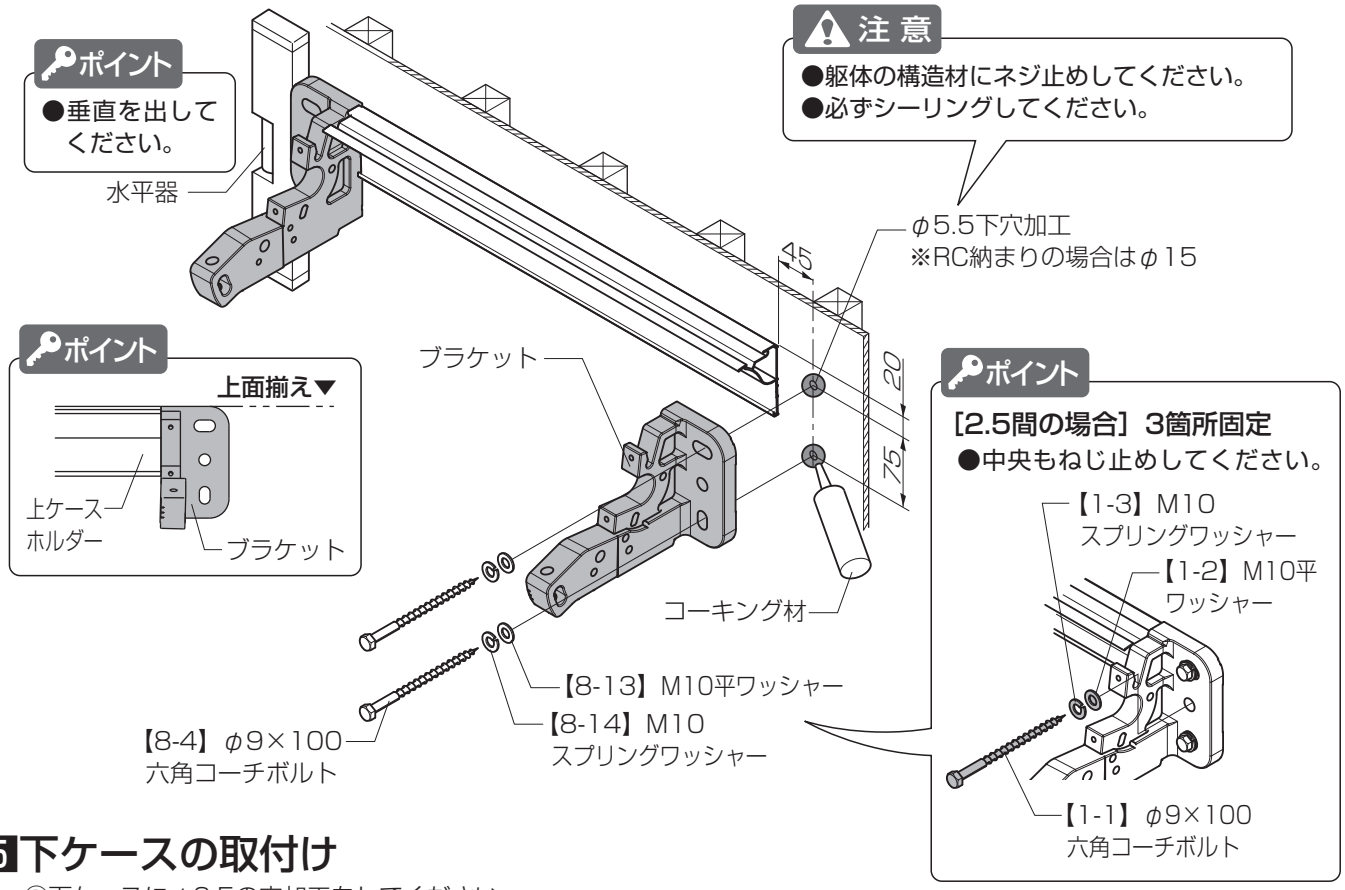
①上ケースホルダーを切断してください。
②上ケースホルダーにφ6.5穴加工をしてください。
③躯体にφ4.5の下穴加工をし、シーリングしてください。
④上ケースホルダーを躯体に【8-2】、【8-5】で取付けてください。
⑤位置出し材を躯体に【4-3】で取付けてください。
⑥バックアップ材を位置出し材に張付けてください。
⑦上ケースホルダー、位置出し材にシーリングしてください。



MAN-270B_202511
M962_202511C

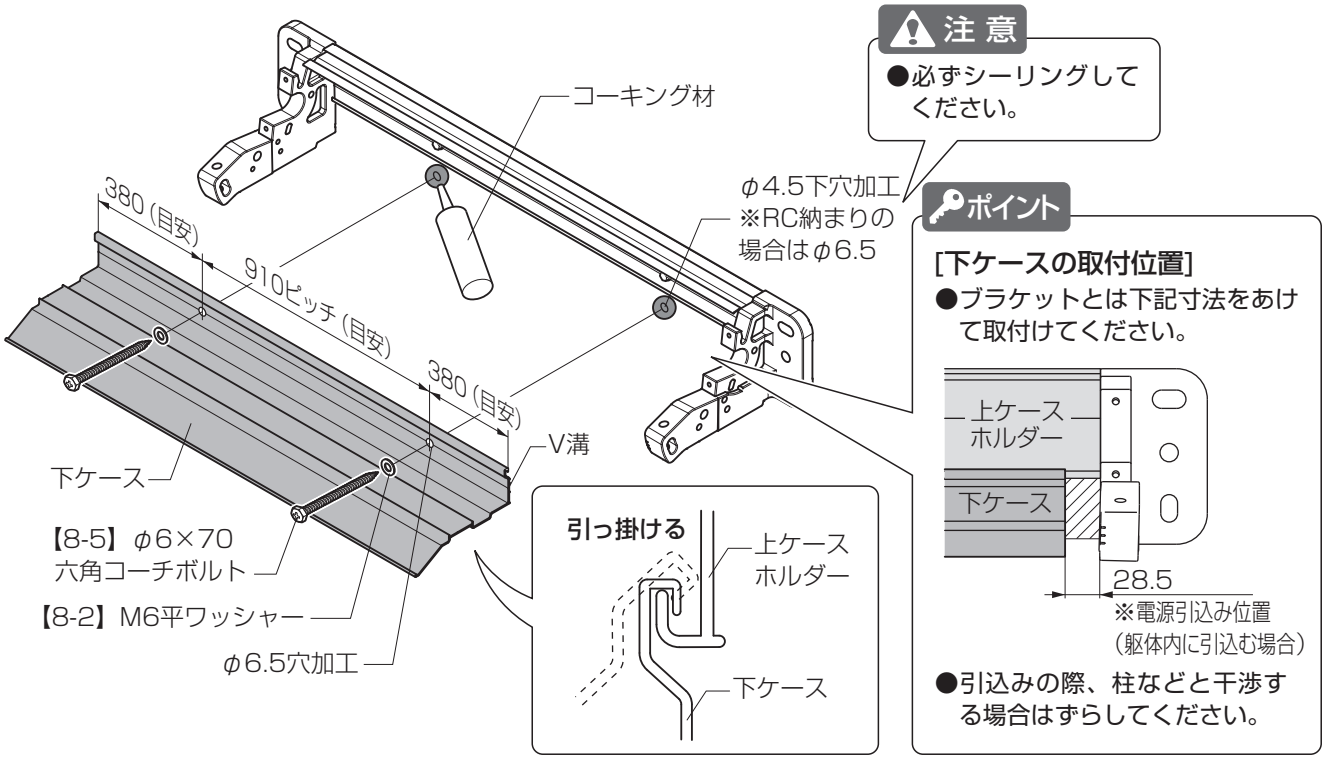
4ブラケットの取付け

①躯体にφ5.5の下穴加工をし、シーリングしてください。
②ブラケットを躯体に【8-4】、【8-13】、【8-14】で取付けてください。



5下ケースの取付け

①下ケースにφ6.5の穴加工をしてください。
②躯体にφ4.5の下穴加工をし、シーリングしてください。
③下ケースを上ケースホルダーに引っ掛け、躯体に【8-2】、【8-5】で取付けてください。



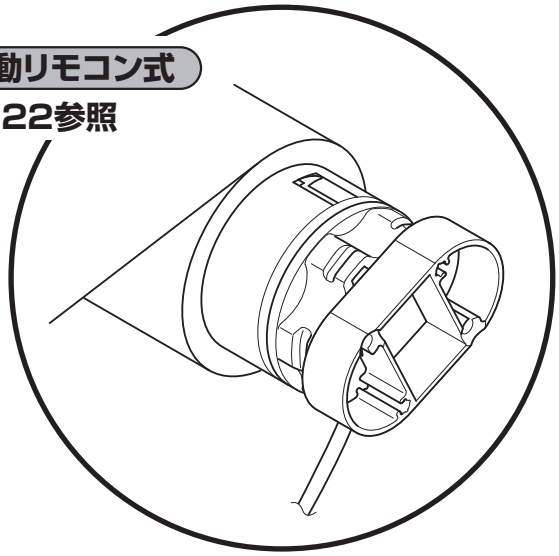
MAN-270B_202511
M962_202511C

6巻取りパイプの取付け

「6巻取りパイプの取付け」は、
「駆動方式」により異なります。
対応する項目を参照の上、作業を行なってください。

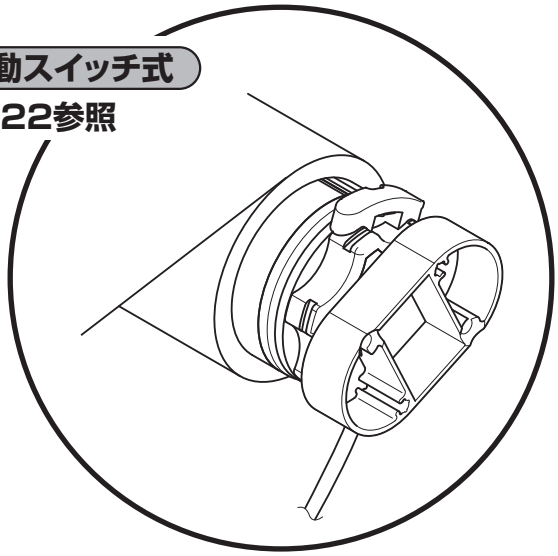
電動リモコン式

P.22参照



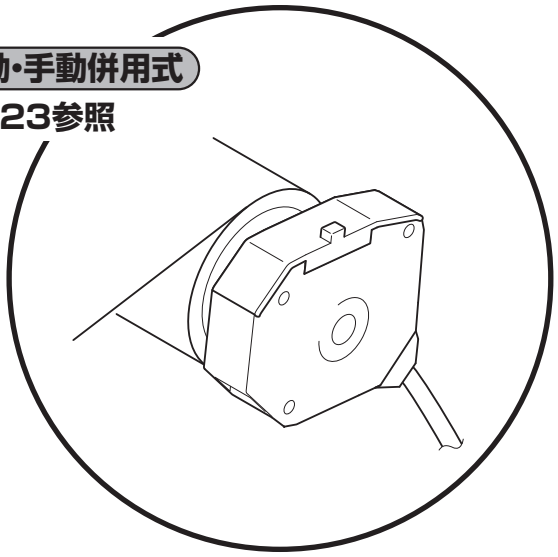
電動スイッチ式

P.22参照



電動・手動併用式

P.23参照



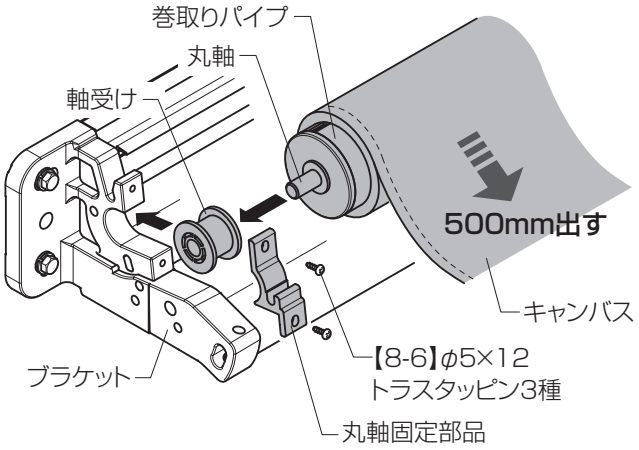
MAN-270_201507
M962_201507A

取付け手順 6巻取りパイプの取付け

電動リモコン式　電動スイッチ式　※図は電動スイッチ式を示します。電動リモコン式も同様に取付けてください。

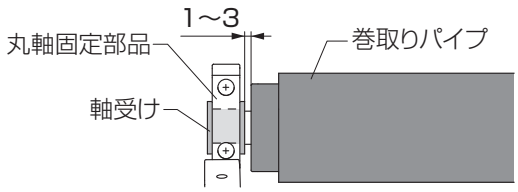
6-1 丸軸側の取付け

①キャンバスを500mm引出してください。
②軸受けと丸軸固定部品をブラケットに【8-6】で取付けてください。
③巻取りパイプの丸軸側を軸受けにはめ込んでください。



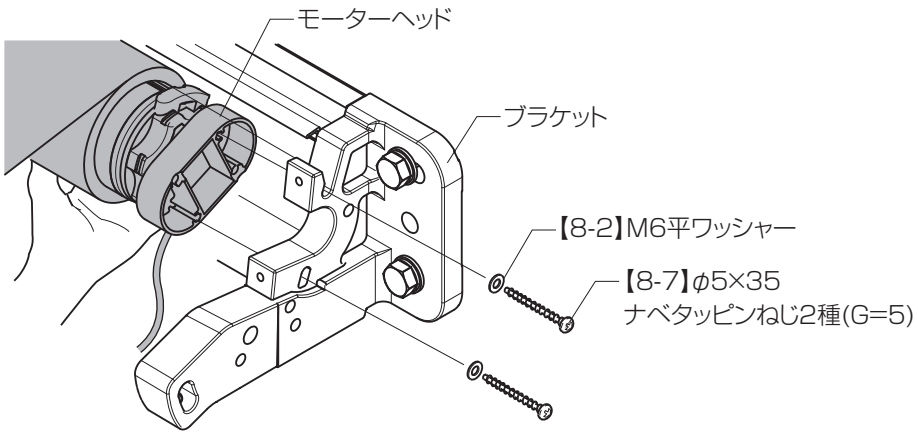
ポイント

●巻取りパイプと軸受けの間は、1mm～3mmあけてください。



6-2 駆動軸側の取付け

①巻取りパイプのモーターヘッドをブラケットに【8-2】、【8-7】で取付けてください。



作業が終わったら、
「 7アームの取付け (P.24)」へ進んでください。

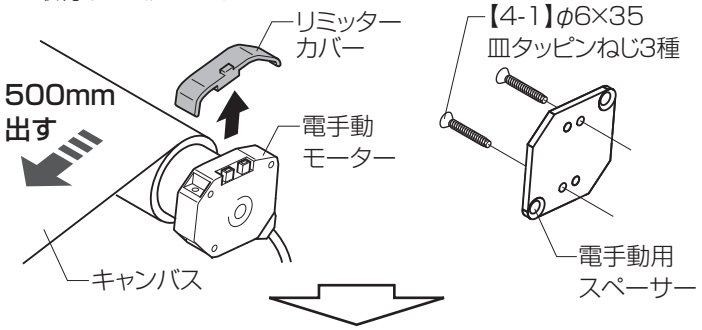
MAN-270_201507
M962_201507A

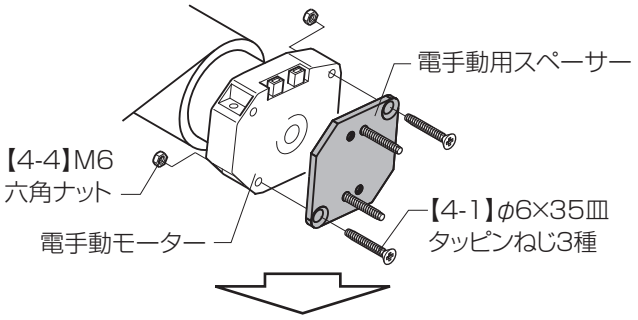
取付け手順 6巻取りパイプの取付け

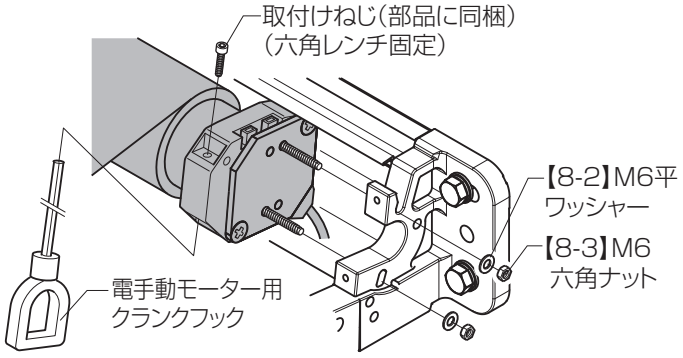
電動・手動併用式

6-1 駆動軸側の取付け

①キャンバスを500mm引出してください。
②リミッターカバーを取外してください。
③電手動用スペーサーに【4-1】を差込んでください。
④電手動スペーサーを電手動モーターに【4-1】、【4-4】で取付けてください。







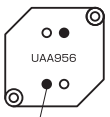
⑤電手動モーターをブラケットに【8-2】、【8-3】で取付けてください。
⑥電手動モーター用クランクフックを「取付けねじ」で取付けてください。

ポイント

●電手動用スペーサーは1枚しか使用しません。(3枚梱包)
●部品番号が記載されていますので確認してください。

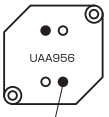
【外観 右駆動 】

[部品番号]
UAA956



【外観 左駆動 】

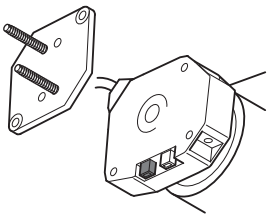
[部品番号]
UAA956



ポイント

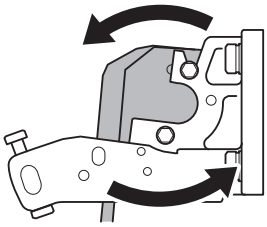
【外観 左駆動 の場合】

●リミットボタンが下側になるように、組立て、取付けを行なってください。



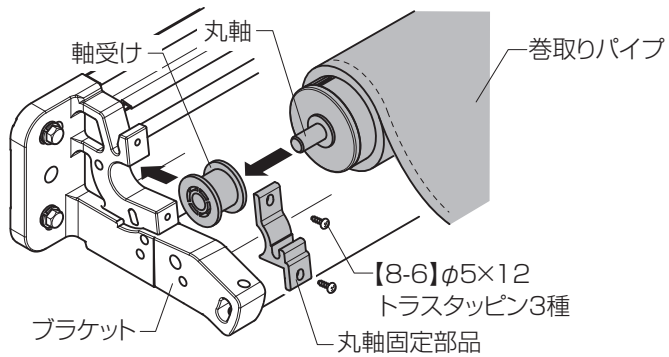
ポイント

●電手動モーターの取付けには、あそびがあります。アームの根元が干渉しないように、電手動モーターは回転させるようにして固定してください。



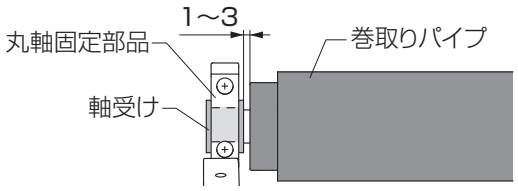
6-2 丸軸側の取付け

①軸受けと丸軸固定部品をブラケットに【8-6】で取付けてください。
②巻取りパイプの丸軸側を軸受けにはめ込んでください。



ポイント

●巻取りパイプと軸受けの間は、1mm～3mmあけてください。

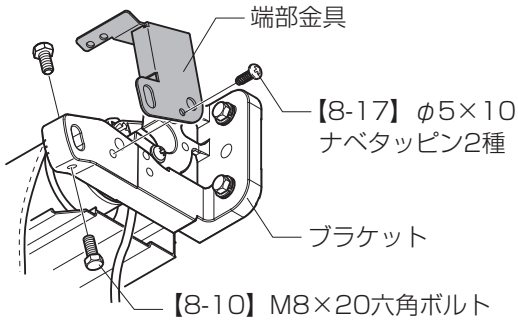


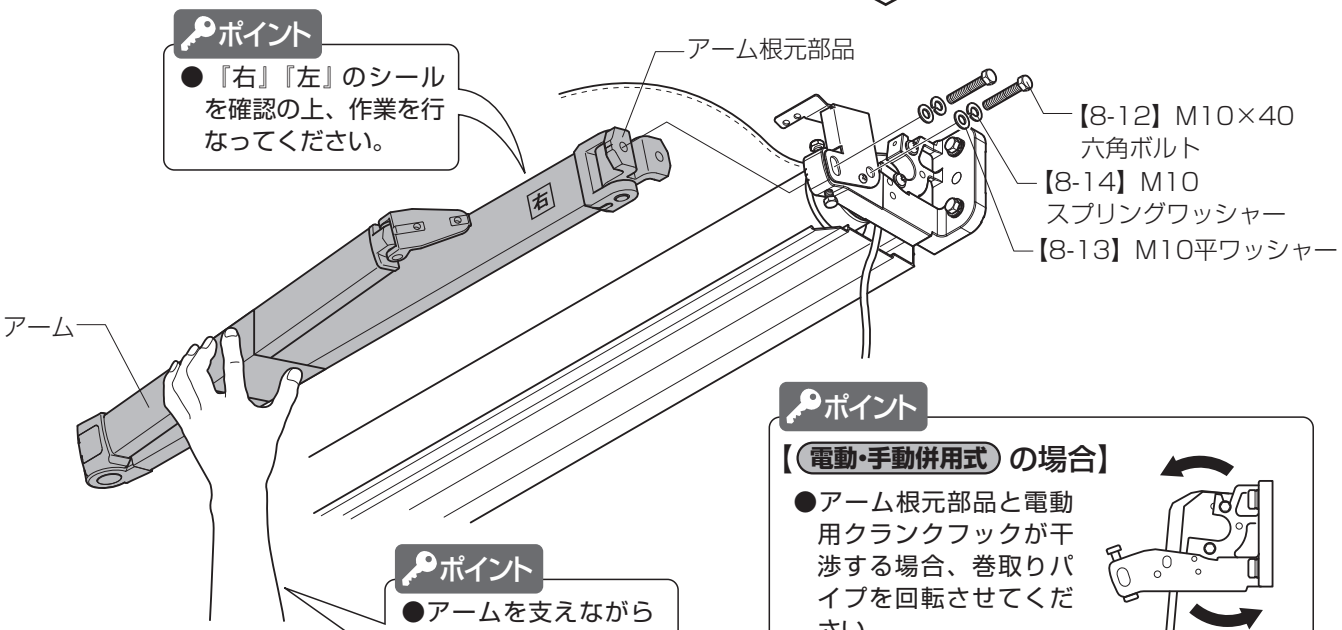
7アームの取付け

7-1 ブラケット側の取付け

（1）端部金具、アームの取付け

①端部金具をブラケットに【8-17】で取付けてください。
②【8-10】をブラケットに仮止めしてください。
③アームをブラケットに【8-12】、【8-13】、【8-14】で取付けてください。





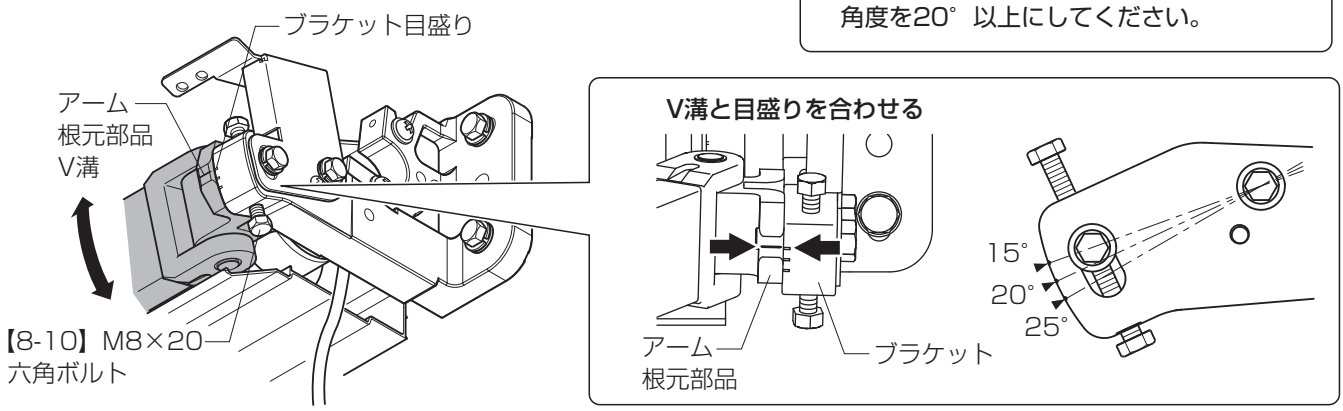
ポイント
●アームを支えながら施工すると取付けやすくなります。

ポイント
【電動・手動併用式の場合】
●アーム根元部品と電動用クランクフックが干渉する場合、巻取りパイプを回転させてください。

（2）アーム角度の調整

①アーム根元部品のV溝をブラケットの目盛りに合わせ、角度を決めてください。
②【8-10】を締め込み、角度を固定してください。

ポイント
●アーム角度は15°～25°の範囲で設定することがきます。
●雨天時（大雨を除く）に使用する場合は、角度を20°以上にしてください。



MAN-270_201507
M962_201507A

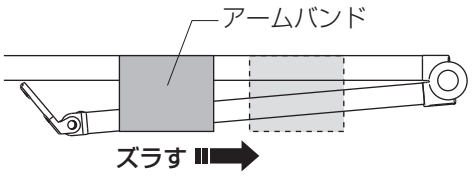
取付け手順 7アームの取付け

7-2 前枠側の取付け

①前枠取付け裏板を前枠に挿入してください。
②アームバンドをひじ側に少しズラしてください。
③アームの前枠部品と前枠を【8-2】、【8-11】で固定してください。

補 足

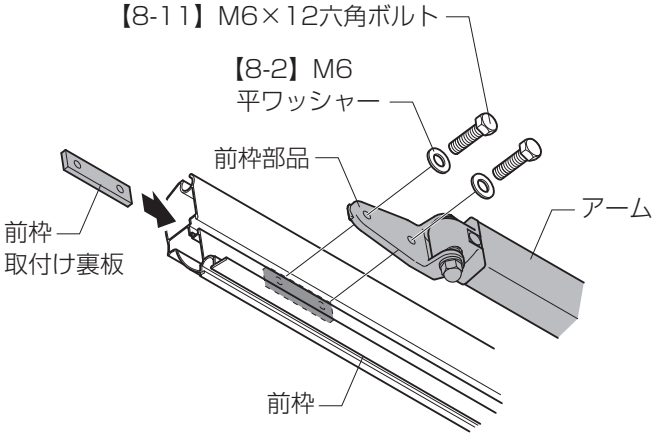
●アームバンドを少しズラすと作業しやすくなります。



ポイント

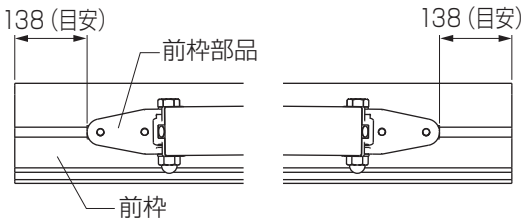
[キャンバスへのキズ防止のため]

●アームのひじ部分に布などを巻いてください。



ポイント

[前枠部品の固定位置]



●上記寸法は目安です。現場の状況により変わりますので、上ケース取付け後、ケース内に納まるよう調整してください。

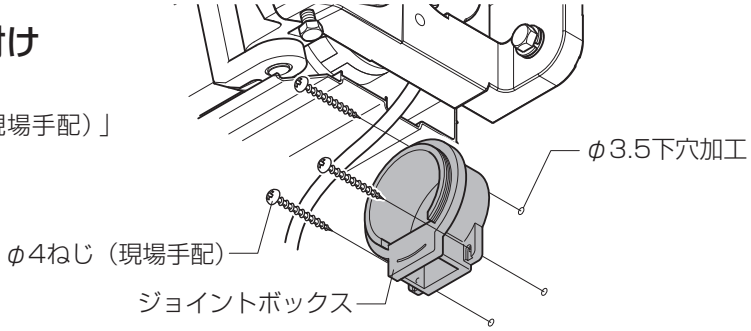
ポイント

●アームと前枠の固定が完了しましたら、アームバンドを取外してください。

8電気配線

8-1 ジョイントボックスの取付け

①ジョイントボックスを躯体に「φ4ねじ（現場手配）」で取付けてください。



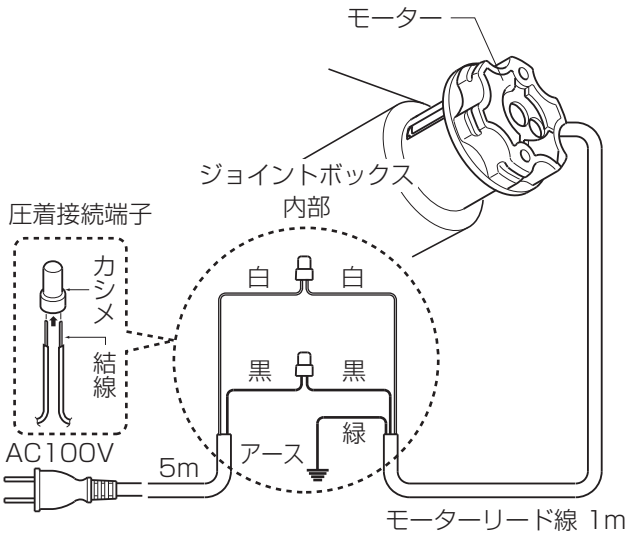
8-2 配線接続

⚠注 意

●感電・漏電のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・モーター電源を直結させる場合の電気配線工事は必ず電気工事有資格者が行ってください。
・電源線の接続は、電気が通っていないことを確認してから行ってください。

電動リモコン式

①モーターリード線を配線してください。



ポイント

●モーターリード線の切り詰めはしないでください。
リモコン感度が悪くなります。
●モーターリード線を強く引っ張らないでください。
シーリングが切れて漏水し、モーター破損のおそれがあります。

電動スイッチ式　電動・手動併用式

スイッチ操作方向
▲：収納方向　▼：張出し方向

【外観 右駆動 】

ポイント

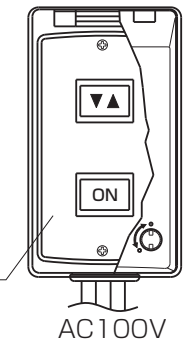
●スイッチボックスセットに同梱の取付説明書を参照してください。

【外観 左駆動 】

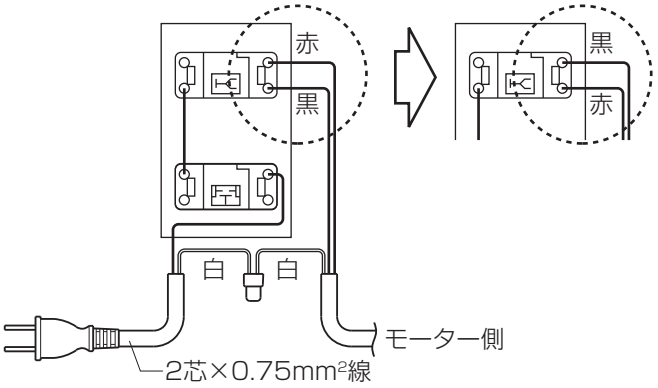
ポイント

●巻取りパイプの回転方向が逆になるので、変更したい場合、センサー付きの場合は下記手順で変更してください。

①モーター電線の赤と黒の結線を逆にしてください。



[スイッチボックス内部]

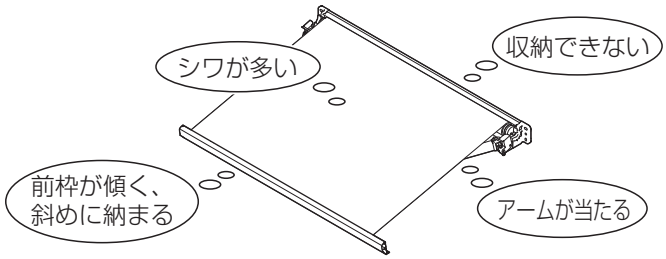


MAN-270_201507
M962_201507A

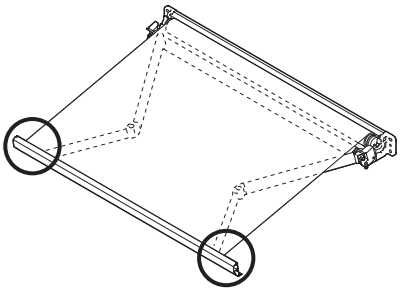
9納まりの確認・調整

ポイント

●キャンバスを開閉したときに、
・収納できない
・前枠が傾く、斜めに納まる
・シワが多く発生する
・アームが前枠や巻取りパイプに当たる
などの現象が起こる場合、以下項目の確認・調整を行なってください。



9-1 前枠部品の位置…… 左右均等になっていること。

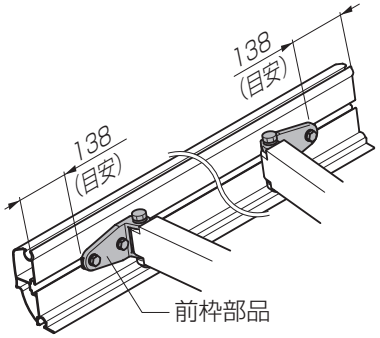


均等でないときは…

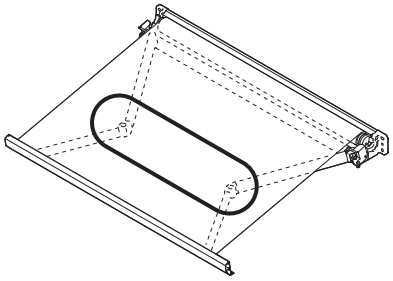
①前枠部品を左右均等に配置してください。

ポイント

●寸法は、サイズ・躯体条件により、微調整してください。

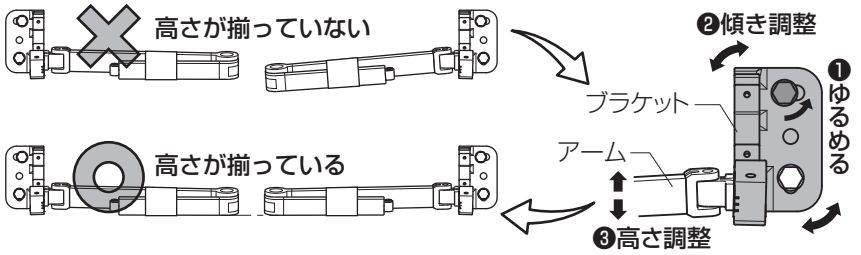


9-2 アームの高さ…… 左右同じ高さであること。



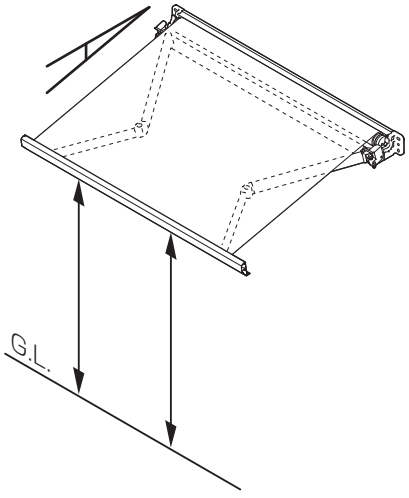
高さが違うときは…

①ブラケットの傾きを調整し、アームのひじの高さを揃えてください。



9-3 アームの角度…… 左右同じ角度に設定されていること。

前枠の水平（張出し時）…… 水平であること。



角度が違う、水平でないときは…

①M8、M10のボルトをゆるめてください。

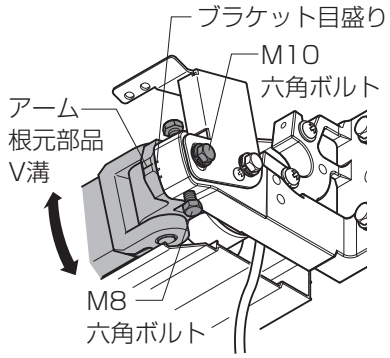
〈角度の調整〉

②アーム根元部品のV溝をブラケットの目盛りに合わせ、左右の角度を同じ角度に設定してください。

〈水平の調整〉

③左右どちらかの角度を微調整してください。

④ボルトを締めなおしてください。



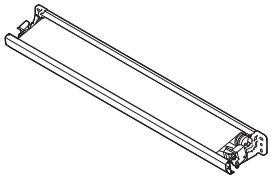
ポイント

●角度は、躯体条件により、微調整してください。

MAN-270_201507
M962_201507A

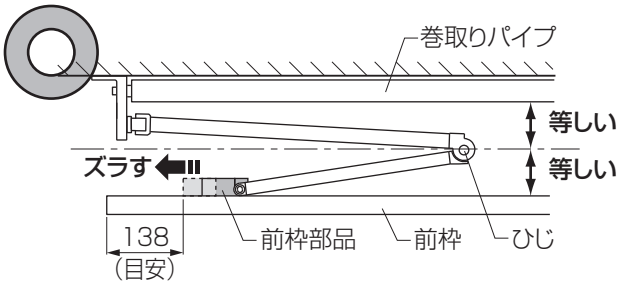
取付け手順 9納まりの確認・調整

9-4 収納時の納まり…… ひじが中央にあること。

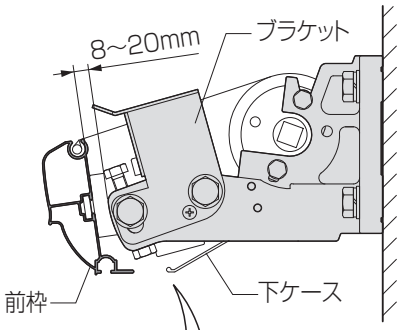


ひじが中央にこないときは…

①前枠部品を少しずつ移動させ、アームのひじが図の位置になるようにしてください。



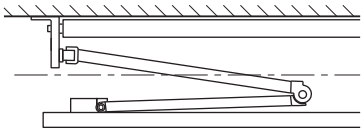
[収納時の納まり目安]



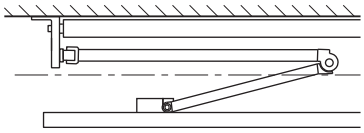
補 足

●前枠と下ケースのすき間は角度、躯体、出幅、キャンバス種類により異なります。

前枠側に寄っている



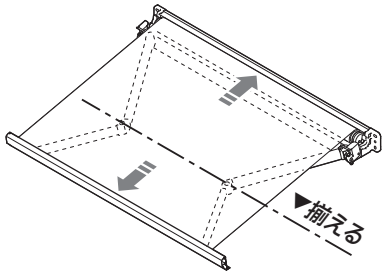
巻取りパイプ側に寄っている



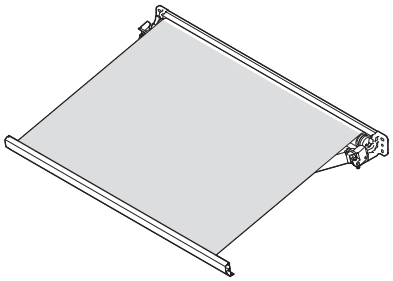
補 足

[開閉中にアームが左右均等にならない場合]

●開閉中にアームのひじを動かし、均等に調整してください。



9-5 キャンバスの位置…… 指定位置であること。 ※図は外観右側駆動になります。

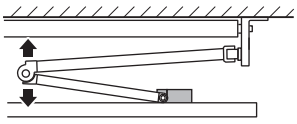


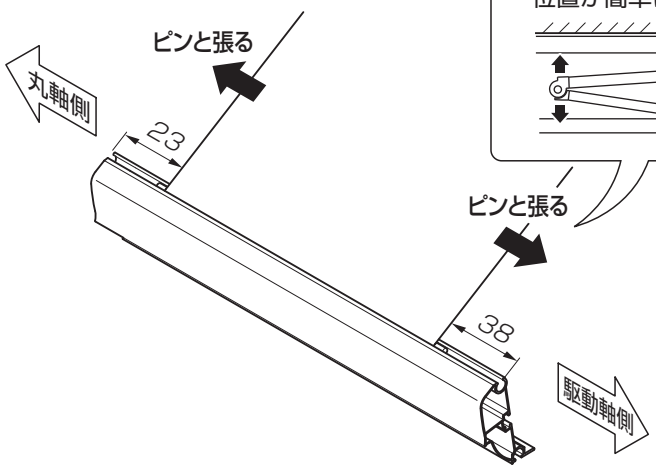
指定位置でないときは…

①図の位置になるようにキャンバスを引っ張ってください。

補 足

●収納500mm程度手前の位置でアームひじ部を前後に動かすと、キャンバスの位置が簡単にズレます。



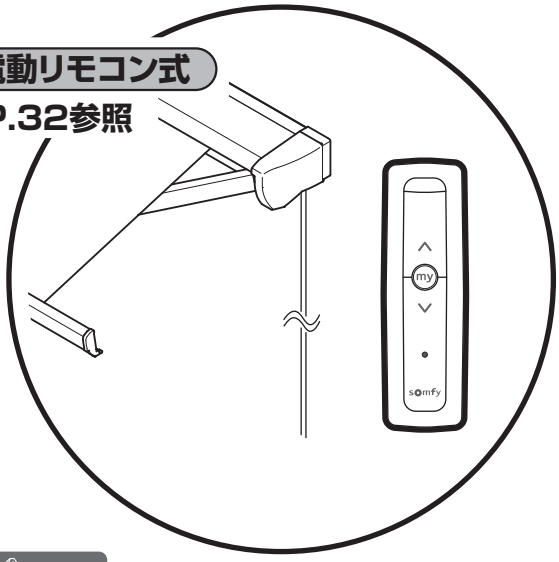


MAN-270_201507
M962_201507A

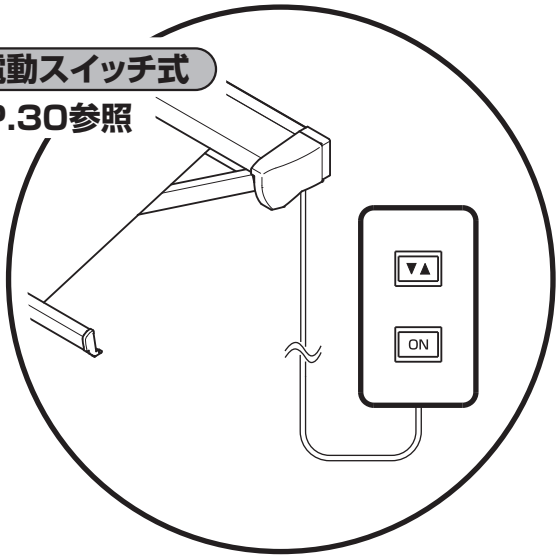
⑩開閉リミット（限界）調整

「⑩開閉リミット（限界）調整」は、
「駆動方式」により異なります。
対応する項目を参照の上、作業を行なってください。

電動リモコン式
P.32参照



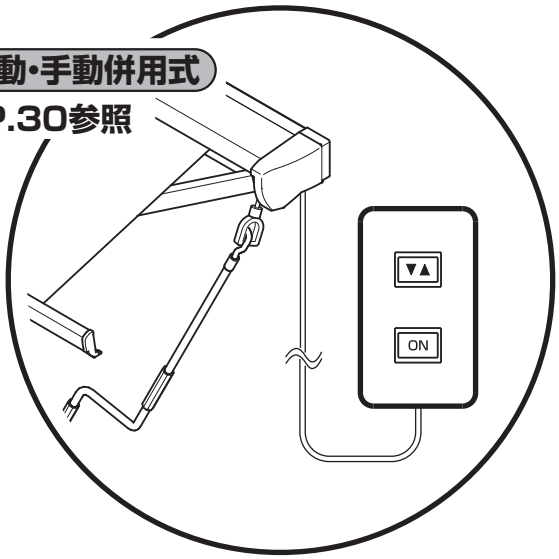
電動スイッチ式
P.30参照



補足

リモコンは本イラストとデザインが異なる場合がありますが機能、操作、設定方法に変更はありません。

電動・手動併用式
P.30参照



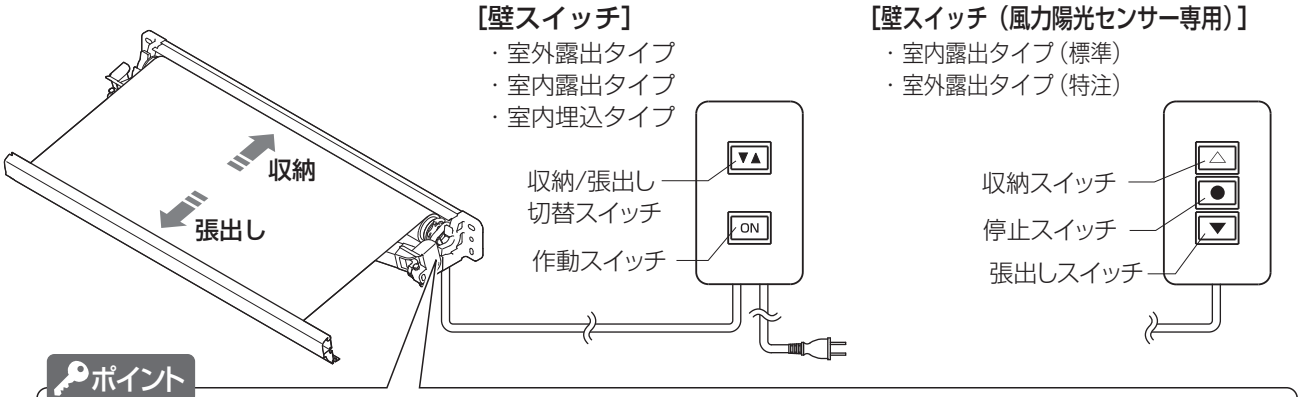
MAN-269B_202511
M961_202511C

取付け手順 ⑩開閉リミット(限界)調整

電動スイッチ式 **電動・手動併用式**

ポイント

●キャンバスを張出す場合、周囲に障害物（木の枝・電線・アンテナなど）がないか確認してください。
●リミット調整された範囲内であれば、途中停止状態でも使用できます。
●スイッチを押している間、キャンバスが動します。
●開閉を頻繁に繰り返すと自動的に電源が切れます。その際は20～30分ほど休ませると操作が可能になります。



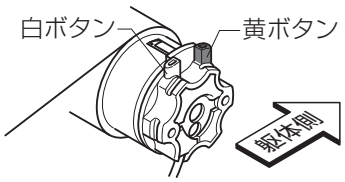
ポイント

●左駆動と右駆動ではリミットボタンの設定が逆になります。

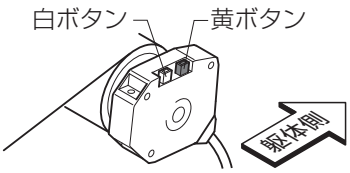
【外観 右駆動 】

上限（収納） 設定：黄ボタン
下限（張出し）設定：白ボタン

電動スイッチ式



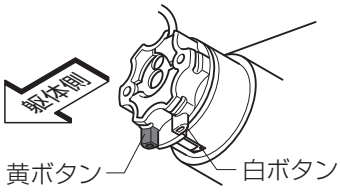
電動・手動併用式



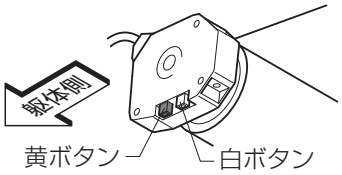
【外観 左駆動 】

上限（収納） 設定：白ボタン
下限（張出し）設定：黄ボタン

電動スイッチ式

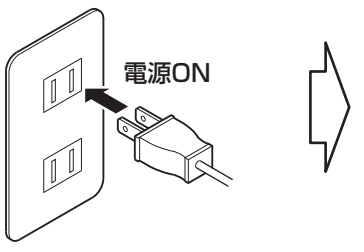


電動・手動併用式

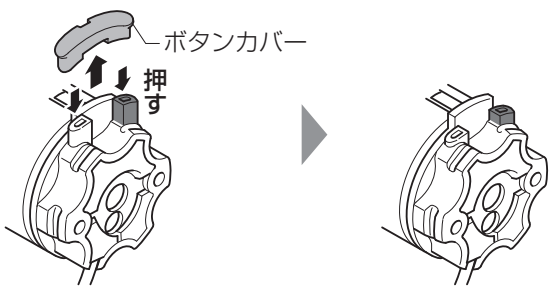


（1）設定前の準備

①電源を入れてください。



②ボタンカバーを外し、黄ボタンと白ボタンを押し込んでください。
上限と下限位置が設定できる状態となります。



MAN-270A_202105
M962_202105B

取付け手順 10開閉リミット(限界)調整

(2) 上限（収納）位置の設定

①キャンバスを上限に設定する位置まで巻取ってください。

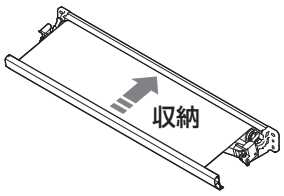
壁スイッチ



または

壁スイッチ
(センサー付)

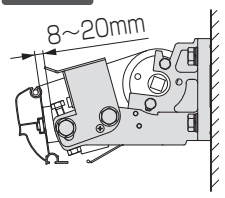




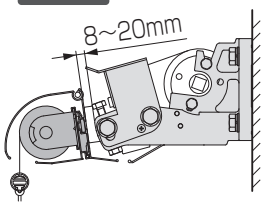
ポイント

[上限（収納）位置の目安]

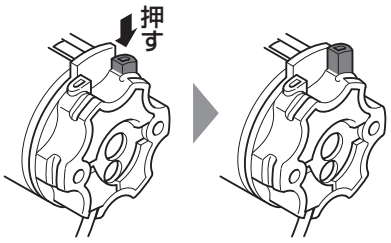
C 型



CR型



②黄ボタン（左駆動の場合は白ボタン）を押してください。
上限位置が確定します。



(3) 下限（張出し）位置の設定

①キャンバスを下限に設定する位置まで張出してください。

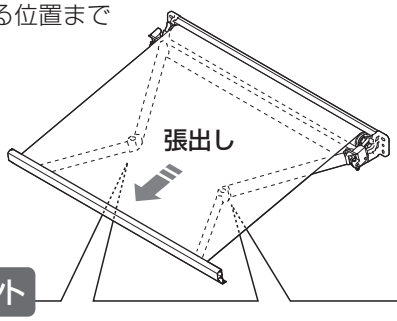
壁スイッチ



または

壁スイッチ
(センサー付)

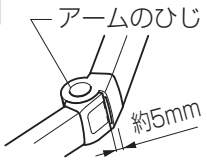




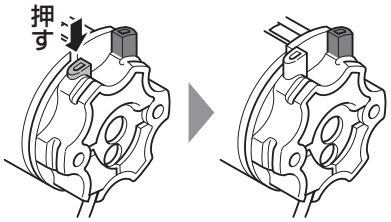
ポイント

[下限（張出し）位置の目安]

●下限位置は、アームのひじのすき間が5mm程度あいた状態で設定してください。



②白ボタン（左駆動の場合は黄ボタン）を押してください。
下限位置が確定します。

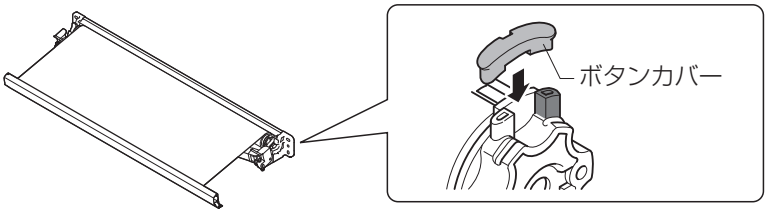


(4) 動作確認

①設定した位置でキャンバスが停止することを確認してください。
②正しく設定されていない場合、（1）～（3）の手順をやり直してください。

(5) ボタンカバーの取付け　※ 電動スイッチ式 の場合のみ

①ボタンカバーを取付けてください。



作業が終わったら、
「 11キャンバスの固定（P.34）」へ進んでください。

MAN-270_201507
M962_201507A

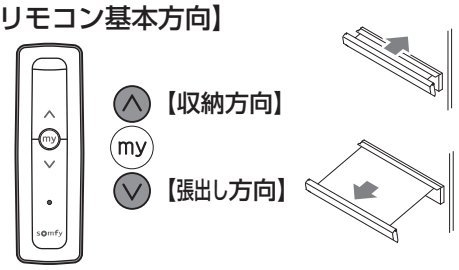
取付け手順 ⑩開閉リミット(限界)調整

電動リモコン式

ポイント

- ●キャンバスを張出す場合、周囲に障害物（木の枝・電線・アンテナなど）がないか確認してください。
- ●リミット調整された範囲内であれば、途中停止状態でも使用できます。
- ●工場出荷時のリミット位置は仮設定です。現場や使用状況に合わせて、上限位置・下限位置の本設定をしてください。
- ●開閉を頻繁に繰り返すと自動的に電源が切れます。その際は20～30分ほど休ませると操作が可能になります。

【リモコン基本方向】



左駆動

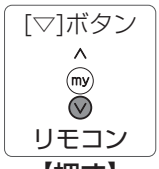
補 足

- ●駆動を現場で変更した場合、巻取りパイプを反転したことでリモコン操作の方向を逆に設定する必要があります。本手順は行なわず、P.42「リモコンのオールクリアと再設定方法」を行なってください。

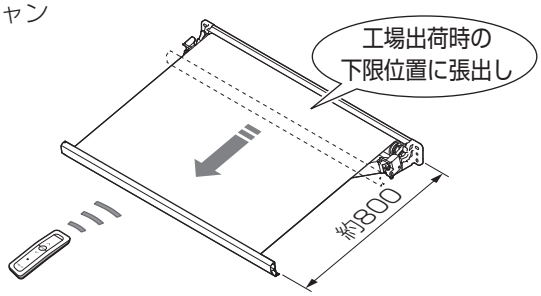
右駆動

（1）キャンバスの張出し（工場出荷時の下限位置:収納位置から約800mm）

①工場出荷時の下限位置にキャンバスを張出してください。



【押す】

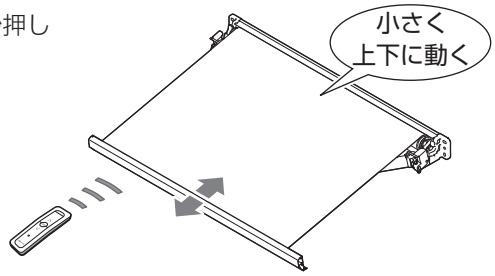


（2）再設定の準備

①「∧」と「∨」を同時に5秒押してください。



【同時に5秒押す】

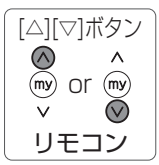


ポイント

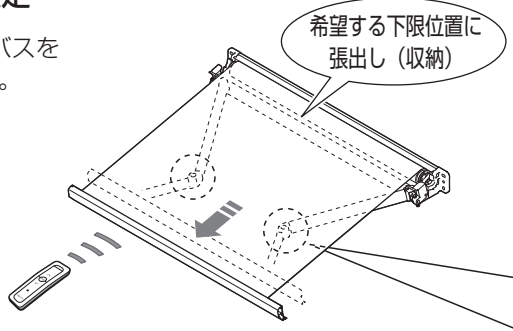
- ●下限位置に張出されていないと反応しません。

（3）下限（張出し）位置の設定

①希望する下限位置にキャンバスを張出し（収納）してください。



【繰り返し押す】



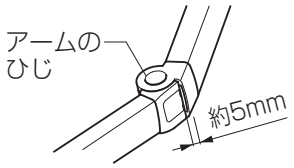
ポイント

- ●このとき、キャンバスは5秒間しか動かせません。続けて動かす場合は、再度ボタン操作をしてください。

ポイント

[下限（張出し）位置の目安]

- ●下限位置は、アームのひじのすき間が5mm程度あいた状態で設定してください。

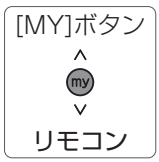


MAN-270A_202105
M962_202105B

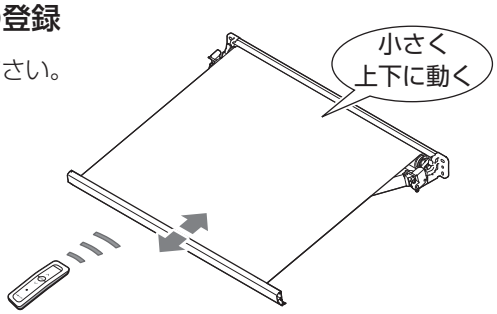
取付け手順 ⑩開閉リミット(限界)調整

(4) 下限（張出し）位置の登録

①「my」を約2秒押してください。



【2秒押す】



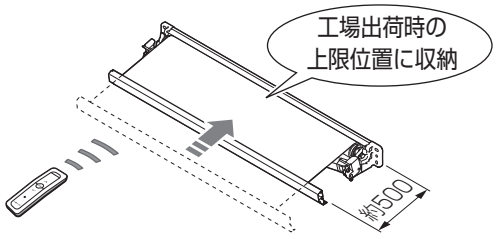
下限位置の
登録完了

(5) キャンバスの収納（工場出荷時の位置:収納位置から約500mm）

①工場出荷時の上限位置にキャンバスを収納してください。



【押す】

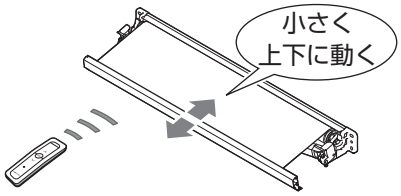


(6) 再設定の準備

①「∧」と「∨」を同時に5秒押してください。



【同時に5秒押す】

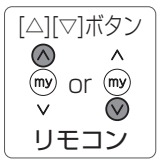


ポイント

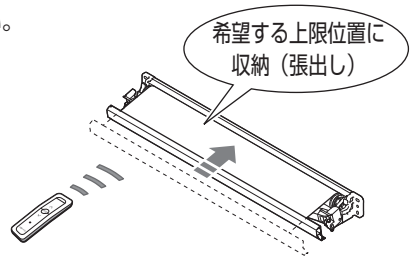
●上限位置に巻取られていないと反応しません。

(7) 上限（収納）位置の設定

①希望する上限位置にキャンバスを収納（張出し）してください。



【繰り返し押す】



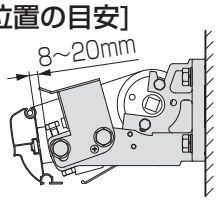
ポイント

●このとき、キャンバスは5秒間しか動かせません。続けて動かす場合は、再度ボタン操作をしてください。

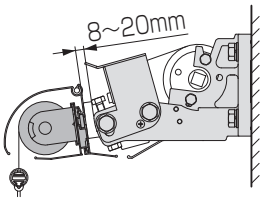
ポイント

[上限（収納）位置の目安]

C 型

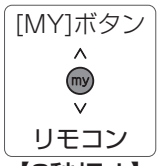


CR型

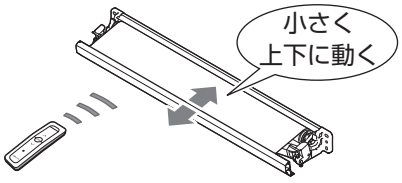


(8) 上限（収納）位置の登録

①「my」を約2秒押してください。



【2秒押す】



上限位置の
登録完了

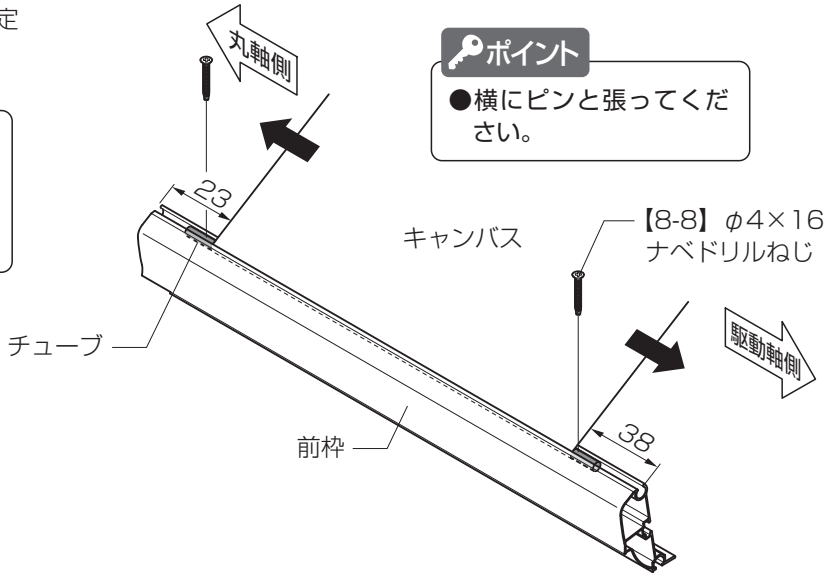
MAN-270A_202105
M962_202105B

11キャンバスの固定 ※図は外観右側駆動になります。

①チューブを前枠に【8-8】で固定してください。

補 足

●チューブを固定することで、キャンバス開閉時の横ズレ・巻きズレを防止することができます。



ポイント

●横にピンと張ってください。

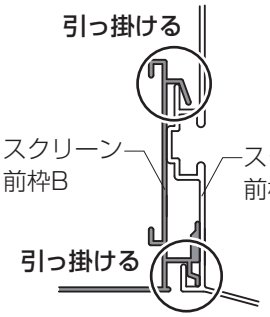
12 CR型 スクリーン前枠の取付け

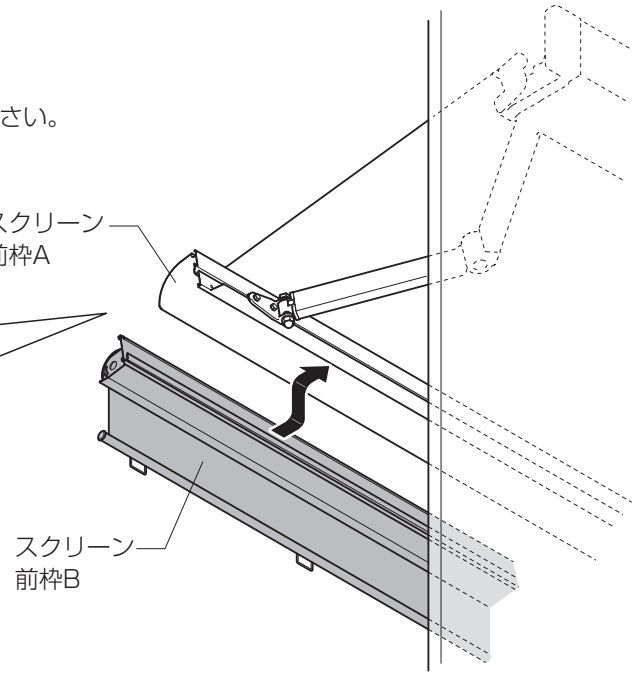
12-1 スクリーン前枠Bの取付け

①スクリーン前枠Bをスクリーン前枠Aに引っ掛けてください。

ポイント

●通しで引っ掛かっていることを確認してください。



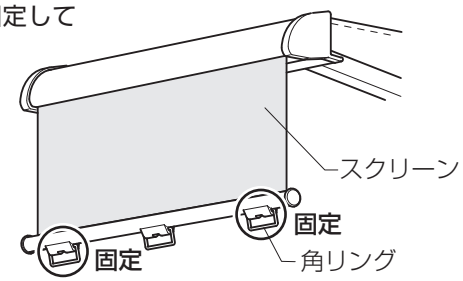


12-2 スクリーン固定金具の取付け

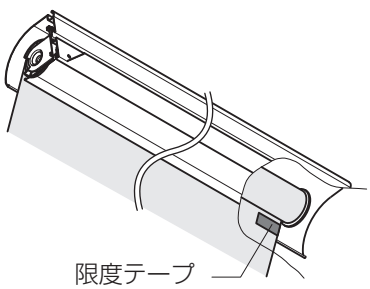
ポイント

●スクリーン固定金具を取付ける際は、以下を守ってください。

・スクリーンの両端2カ所で固定してください。



・スクリーンを張った状態にし、限度テープが見えない範囲で固定してください。

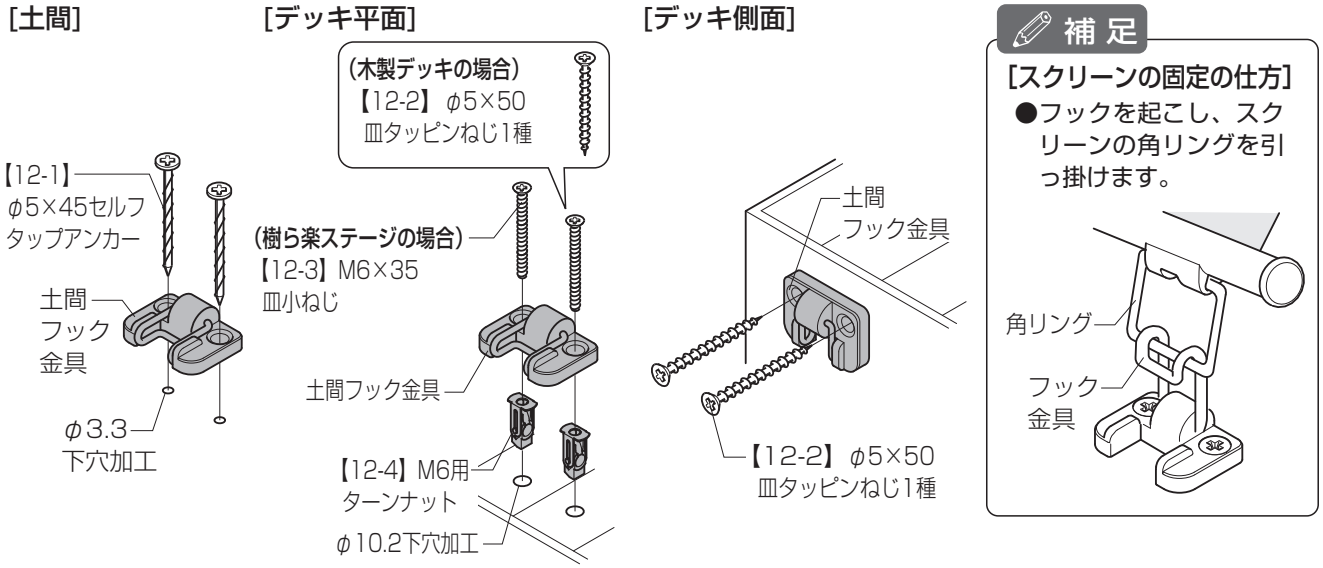


MAN-270_201507
M962_201507A

取付け手順 12 CR型 スクリーン前枠の取付け

【フック金具 オプション の場合】

①土間フック金具を土間やデッキに【12-1】、【12-2】、【12-3】、【12-4】で取付けてください。



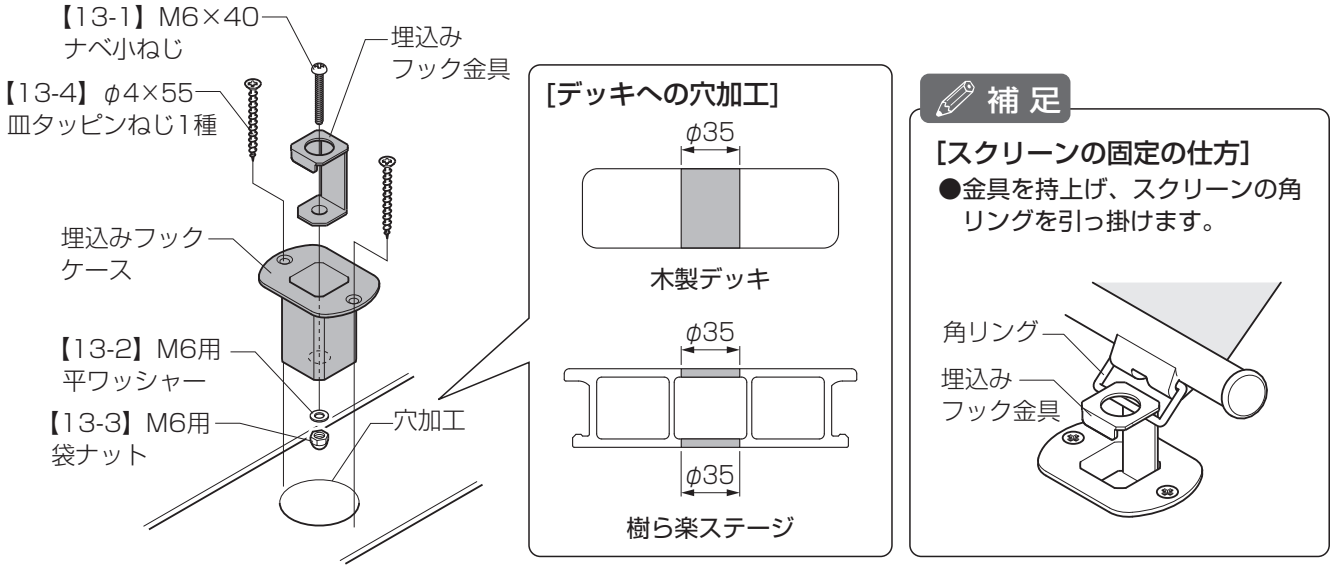
補 足

[スクリーンの固定の仕方]

●フックを起こし、スクリーンの角リングを引っ掛けます。

【埋込みフック金具 オプション の場合】

①埋込みフック金具を埋込みフックケースに組込み【13-1】、【13-2】、【13-3】で固定してください。
②床板に穴加工をし、埋込みフックケースを【13-4】で取付けてください。



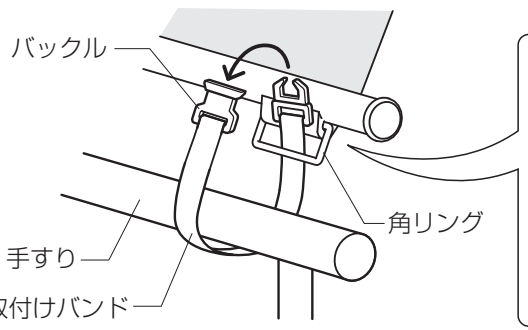
補 足

[スクリーンの固定の仕方]

●金具を持上げ、スクリーンの角リングを引っ掛けます。

【取付けバンド オプション の場合】

①取付けバンドを手すりと角リングに引っ掛け、バックルをはめてください。

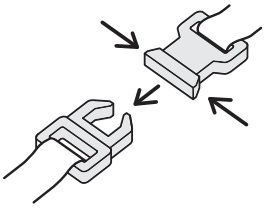


補 足

[バックルの取付け・取外し]

●取付け
カチッと音がするまで押込んでください。

●取外し
バックルの両端を押しながら引抜いてください。



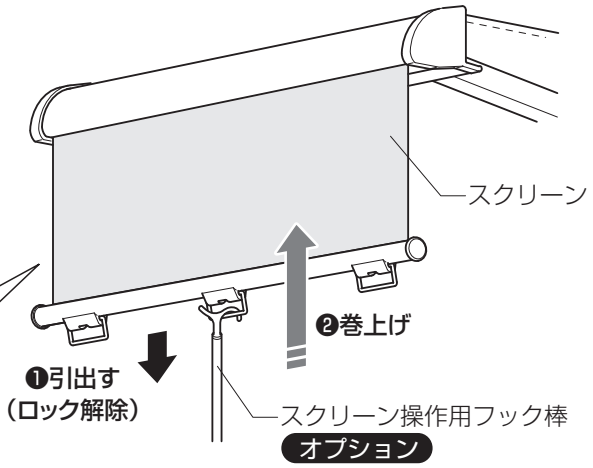
MAN-270B_202511
M962_202511C

12-3 スクリーンの動作確認

（1）巻上げの確認

①手すり、フック金具からスクリーンを外してください。
②中央の角リングを持ち、スクリーンを少し引き出してロックを解除してください。
③スクリーンが自動で巻上がります。

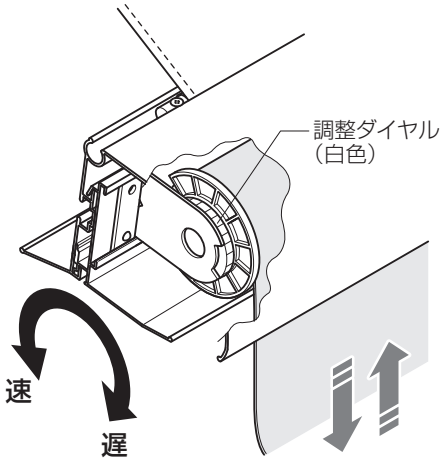
ポイント
●スクリーンが巻乱れないようにゆっくり操作してください。巻乱れは生地の消耗を早めます。



（2）巻上げ速さの調整

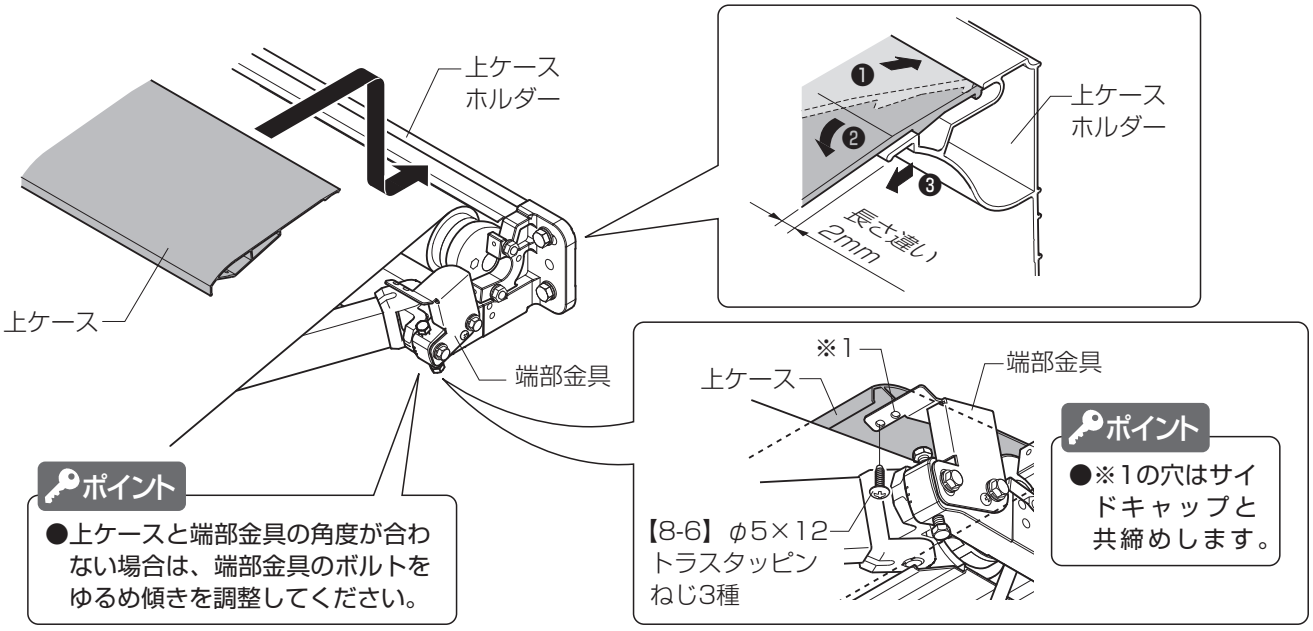
①調整ダイヤルを回して、巻上げ速さの調整をしてください。

補 足
●スクリーンを上下に操作しながらダイヤルを回すと調整しやすいです。



13上ケースの取付け

①上ケースを上ケースホルダーに差込んでください。
②上ケースを端部金具に【8-6】で固定してください。



ポイント
●上ケースと端部金具の角度が合わない場合は、端部金具のボルトをゆるめ傾きを調整してください。

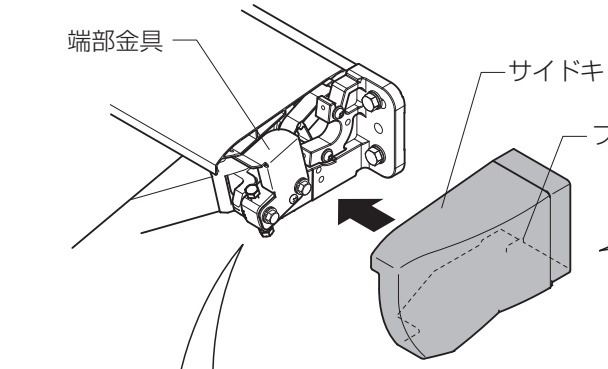
ポイント
●※1の穴はサイドキャップと共締めします。

MAN-270_201507
M962_201507A

14キャップの取付け

14-1 サイドキャップの取付け

①サイドキャップを端部金具に【8-6】で取付けてください。
②上ケースとサイドキャップの継ぎ目にシーリングしてください。

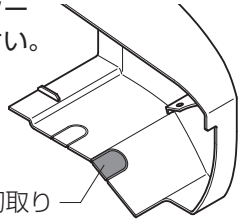


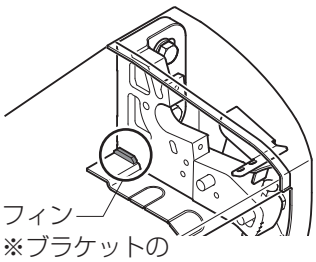
ポイント

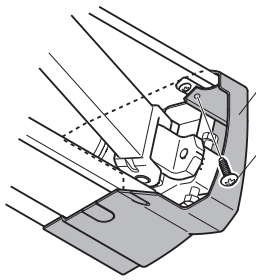
【(電動・手動併用式)の場合】

[駆動側サイドキャップの加工]

●U字部分をカッターで切取ってください。

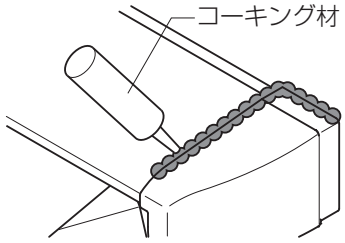






ポイント

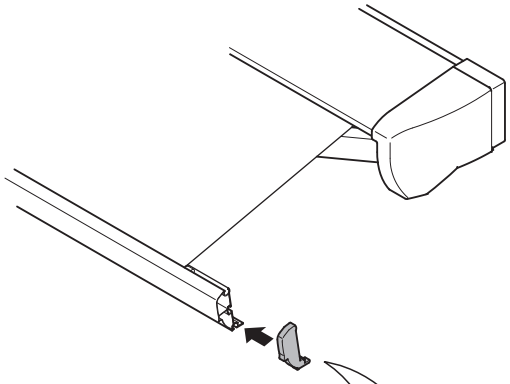
[シーリング]

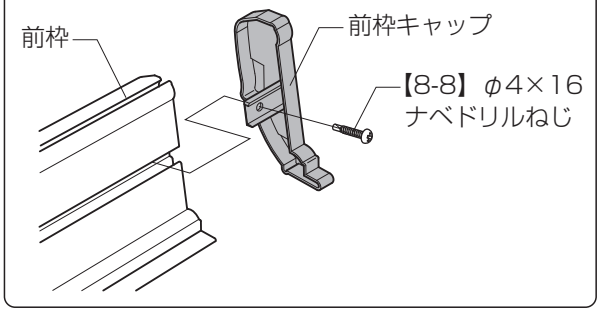


14-2 前枠キャップの取付け

【C型の場合】

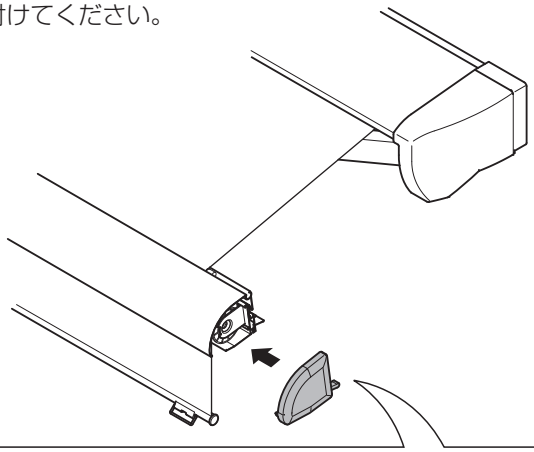
①前枠キャップを前枠に【8-8】で取付けてください。

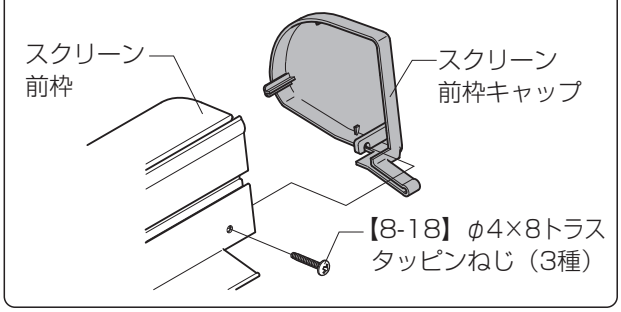




【CR型の場合】

①スクリーン前枠キャップをスクリーン前枠に【8-18】で取付けてください。





MAN-270_201507
M962_201507A

ベースプレート（オプション）納まりの場合 1ベースプレートの取付け

補 足

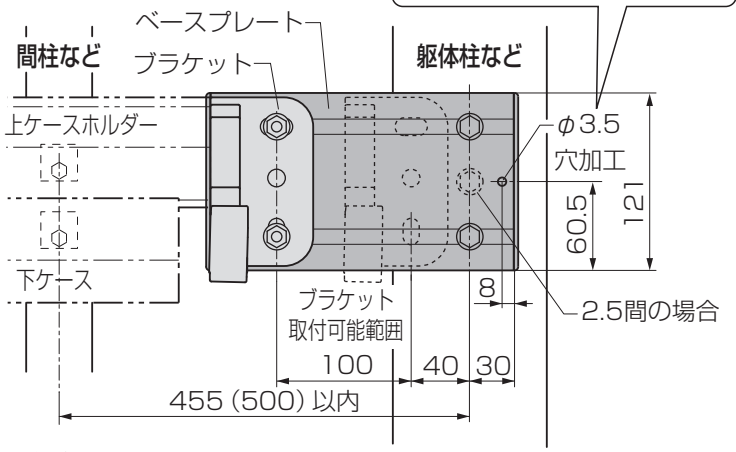
- ●ベースプレート（オプション）は躯体に不陸がある場合やブラケットを直接構造材に取付けられない場合に使用する調整部材になります。
- ●経年変化などで躯体の損傷が著しい場合は、お施主様と打合せをし、必要に応じて補修してから取付けてください。
- ●設定サイズは「L＝215」「L＝600」「L＝3330」「L＝4240」「L＝5150」となります。
  L=3330･4240･5150の場合、固定用のネジは別梱包(【7-1】～【7-6】）となりますのでそちらをご使用ください。

1ベースプレートの取付け

1-1 L=215：ブラケット位置が柱の内側（片支持）の場合

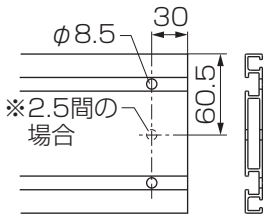
ポイント
●片側のみ加工してください。

①各部材の取付け位置を確認してください。
②ベースプレートに端部キャップ用のφ3.5穴をあけてください。



③ベースプレートの躯体固定位置にφ8.5の穴をあけてください。
④躯体にφ5.5の下穴加工をし、シーリングしてください。
⑤ベースプレートを躯体に【5-1】【5-3】で取付けてください。

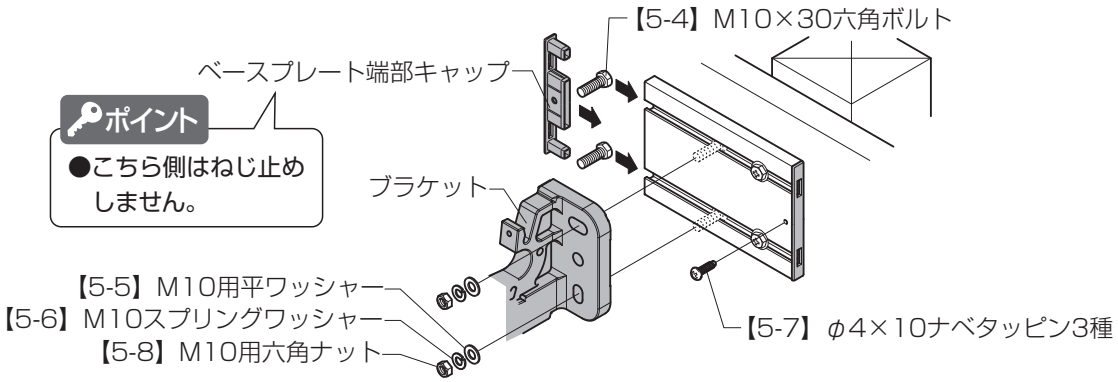
ポイント
●RCアジャストアンカー納まりの場合は2.5間でも2箇所止めです。



注 意
- ●躯体の構造材にネジ止めしてください。
- ●必ずシーリングしてください。

⑥【5-4】をベースプレートに差込んでください。
⑦ブラケットをベースプレートに【5-4】【5-5】【5-6】【5-8】で取付けてください。
⑧端部キャップをベースプレートに取付けてください。

ポイント
●こちら側はねじ止めしません。

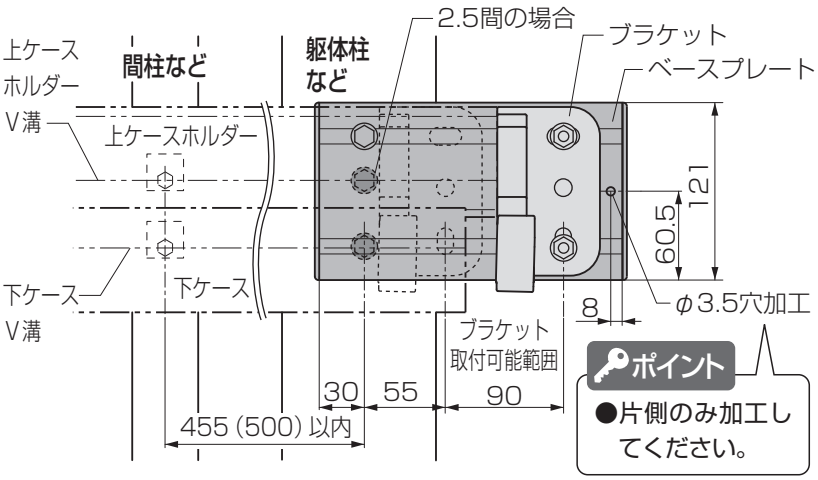


MAN-270B_202511
M962_202511C

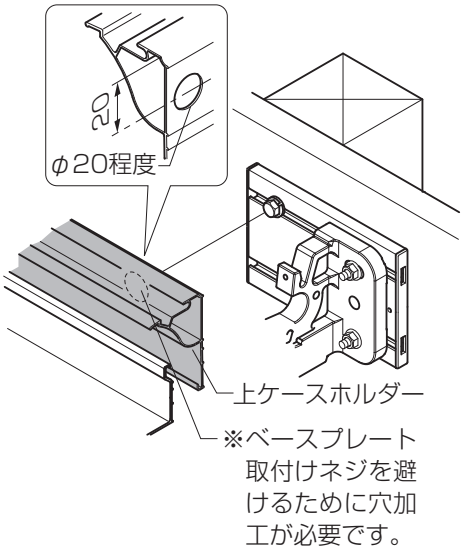
1-2 L=215：ブラケット位置が柱の外側（片支持）の場合

①各部材の取付け位置を確認してください。
②ベースプレートに端部キャップ用のφ3.5穴をあけてください。
③上ケースホルダーにベースプレート取付けネジを避けるためのφ20程度の穴をあけてください。

ポイント
●下図◎のネジは上ケースホルダー、下ケースと共締めになります。
（取付け詳細はP.41「2 上ケースホルダー、下ケースの取付け」参照）

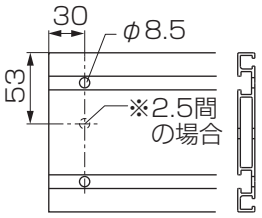


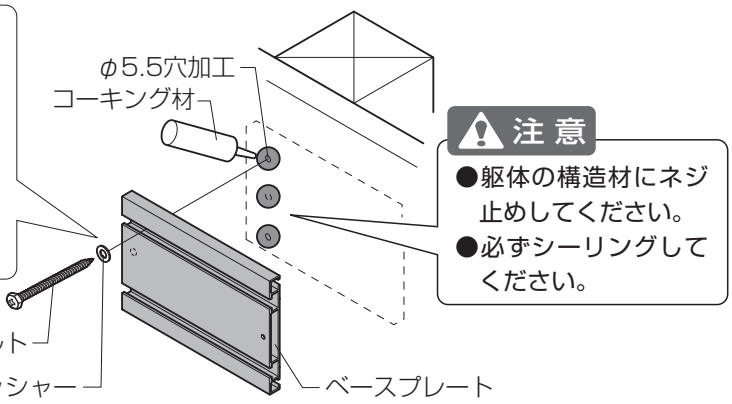
ポイント
●片側のみ加工してください。



③ベースプレートの躯体固定位置にφ8.5の穴をあけてください。
④躯体にφ5.5の下穴加工をし、シーリングしてください。
⑤ベースプレートを躯体に【5-1】【5-3】で取付けてください。

ポイント
●穴加工は2箇所（2.5間の場合3箇所）行ないますが、固定は1箇所のみ行なってください。

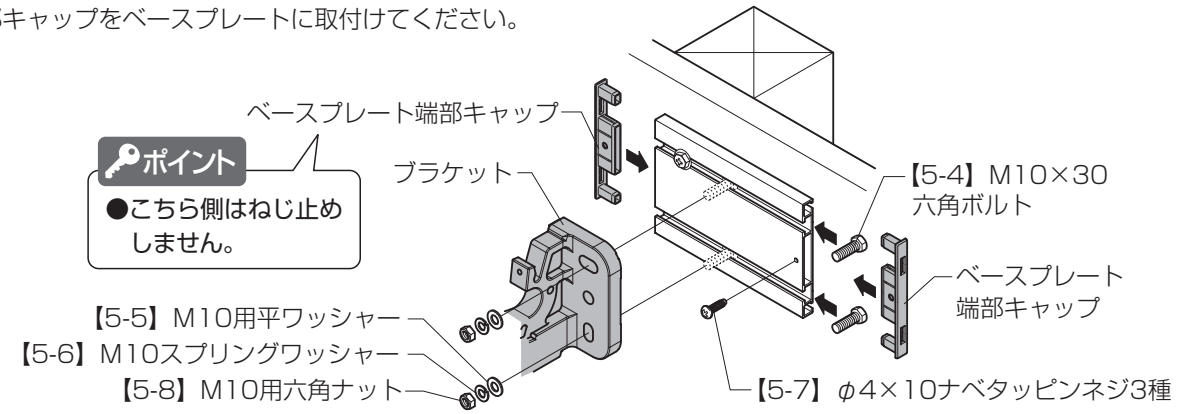




注意
●躯体の構造材にネジ止めしてください。
●必ずシーリングしてください。

⑥【5-4】をベースプレートに差込んでください。
⑦ブラケットをベースプレートに【5-4】【5-5】【5-6】【5-8】で取付けてください。
⑧端部キャップをベースプレートに取付けてください。

ポイント
●こちら側はねじ止めしません。



MAN-270_201507
M962_201507A

1-3 ベースプレート　L＝600以上の場合

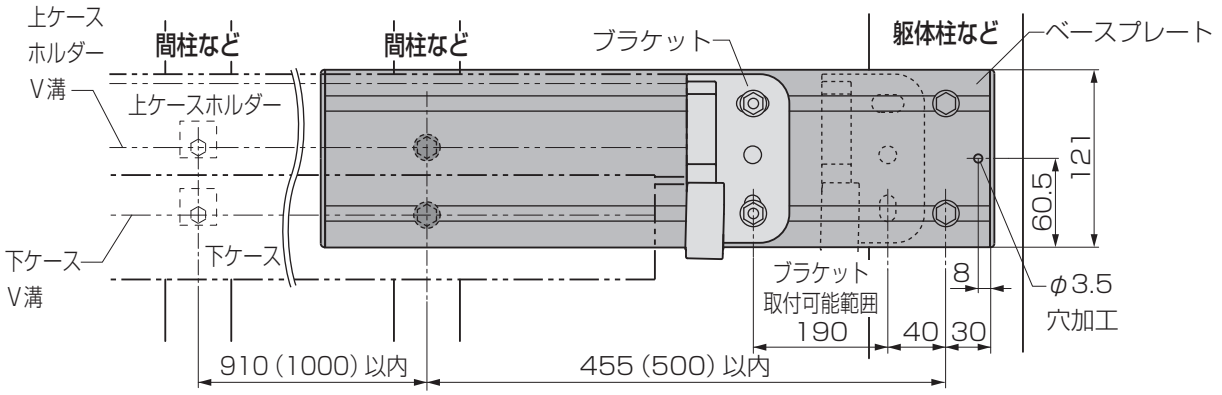
ポイント

●ブラケットをはさむ直近のベースプレート固定は【5-1】、【5-3】で2箇所ずつ固定してください。

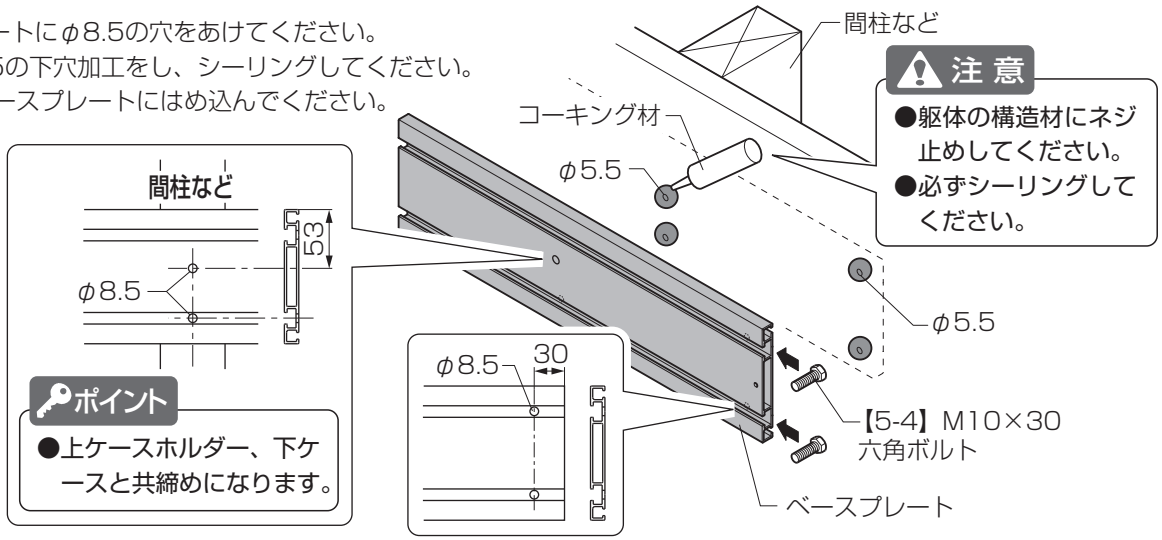
①各部材の取付け位置を確認してください。
②ベースプレートに端部キャップ用のφ3.5穴をあけてください。

ポイント

●下図 ◎ のネジは上ケースホルダー、下ケースと共締めになります。
（取付け詳細はP.41「2上ケースホルダー、下ケースの取付け」参照）



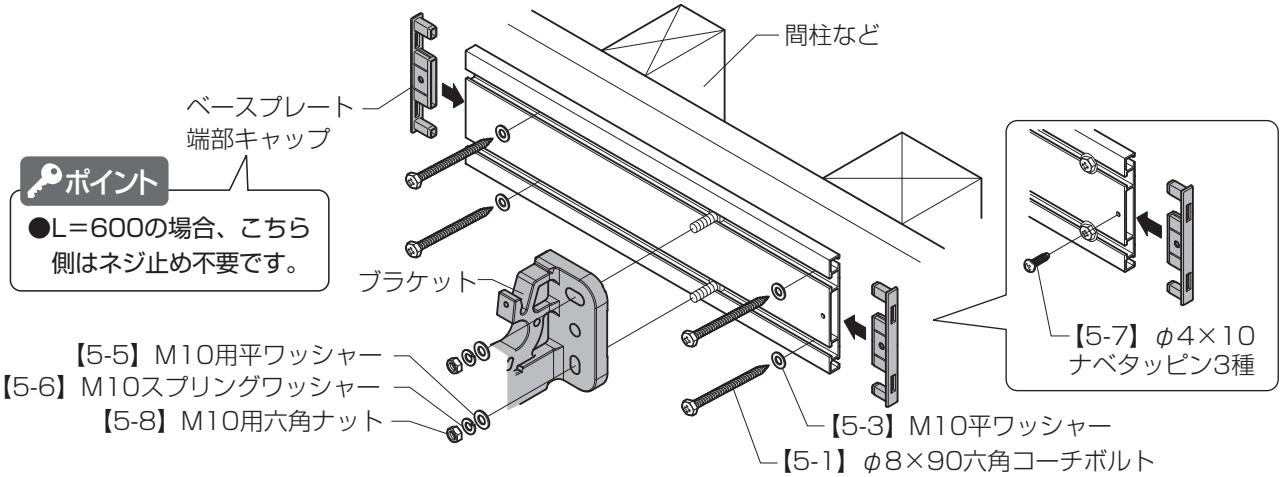
③ベースプレートにφ8.5の穴をあけてください。
④躯体にφ5.5の下穴加工をし、シーリングしてください。
⑤【5-4】をベースプレートにはめ込んでください。



注 意

●躯体の構造材にネジ止めしてください。
●必ずシーリングしてください。

⑥ベースプレートを躯体に【5-1】【5-3】で取付けてください。
⑦ブラケットをベースプレートに【5-4】【5-5】【5-6】【5-8】で取付けてください。
⑧端部キャップをベースプレートに取付けてください。



MAN-270B_202511
M962_202511C

2上ケースホルダー、下ケースの取付け

ポイント

●取付ける際は必ず躯体などの構造材に取付けてください。

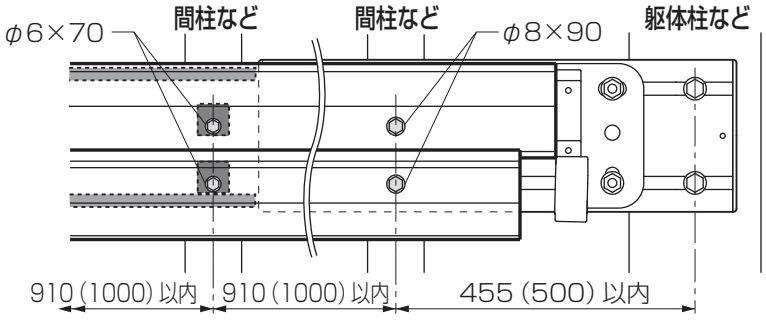
【躯体への取付け】

①躯体にφ4.5の下穴加工をし、シーリングしてください。

②上ケースホルダー、下ケースに13mmスペーサー、クッション材を貼付け【8-2】【8-5】で躯体に取付けてください。

【ベースプレートへの取付け】

①上ケースホルダー、下ケースを【5-1】【5-3】でベースプレートに取付けてください。



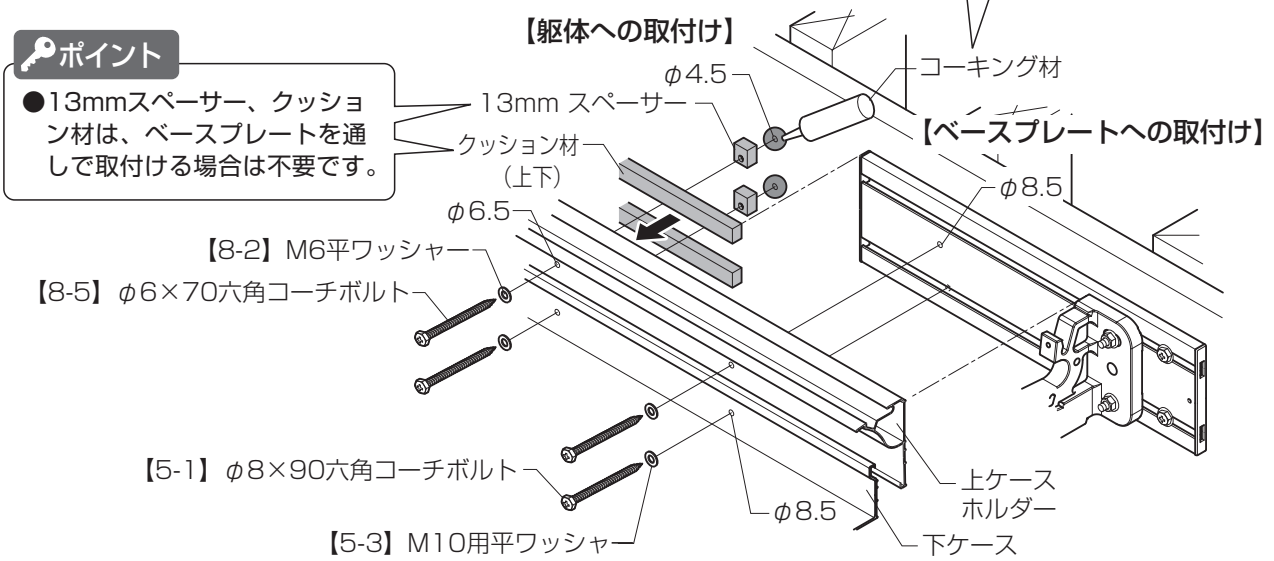
注 意

●躯体の構造材にネジ止めしてください。

●必ずシーリングしてください。

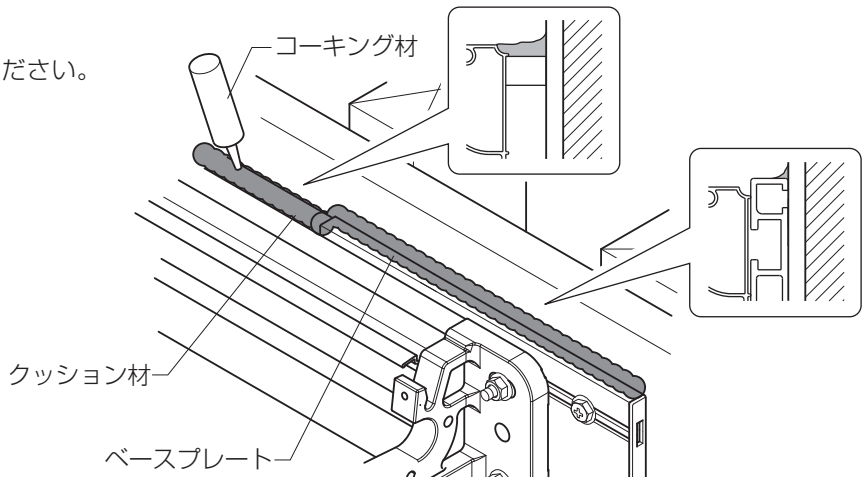
ポイント

●13mmスペーサー、クッション材は、ベースプレートを通しで取付ける場合は不要です。



3シーリング処理

①躯体とのすき間にシーリングをしてください。



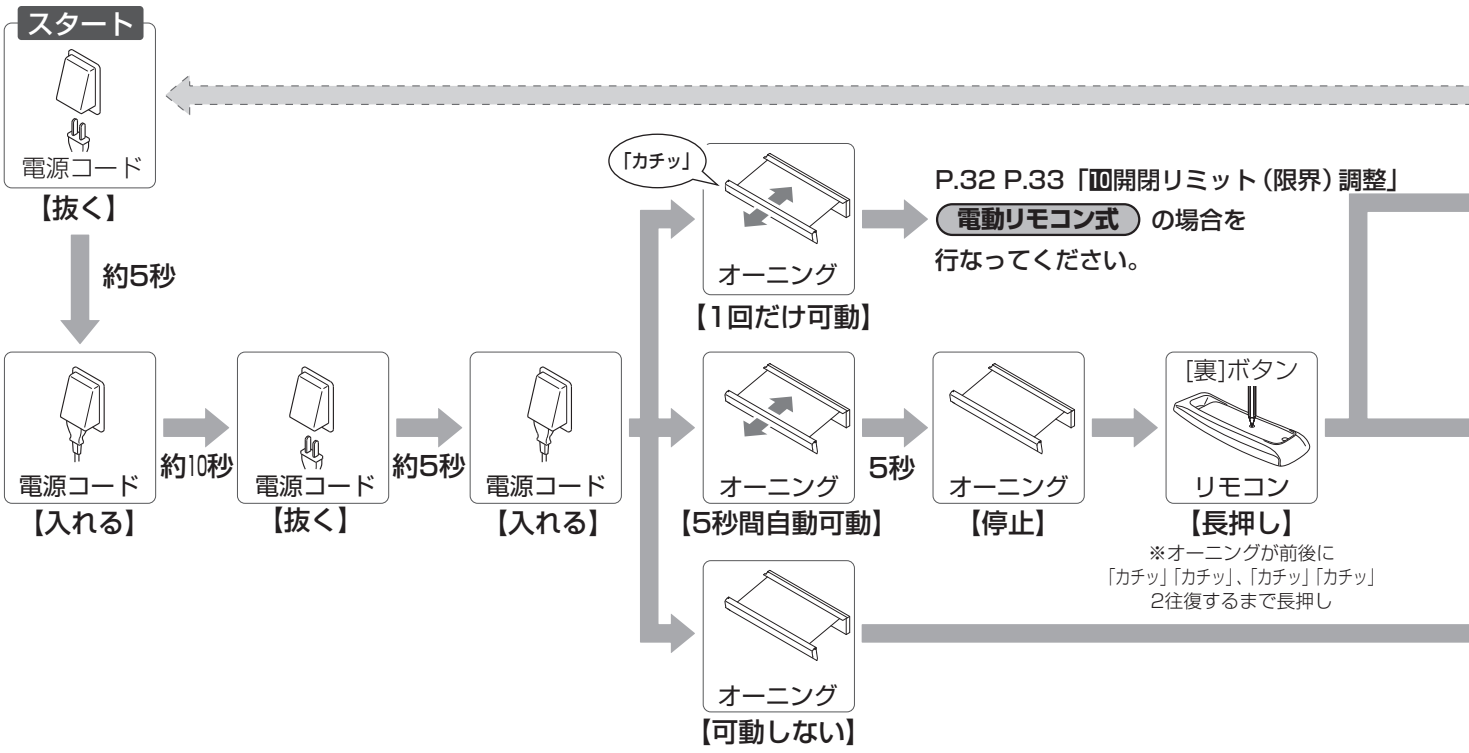
MAN-270_201507
M962_201507A

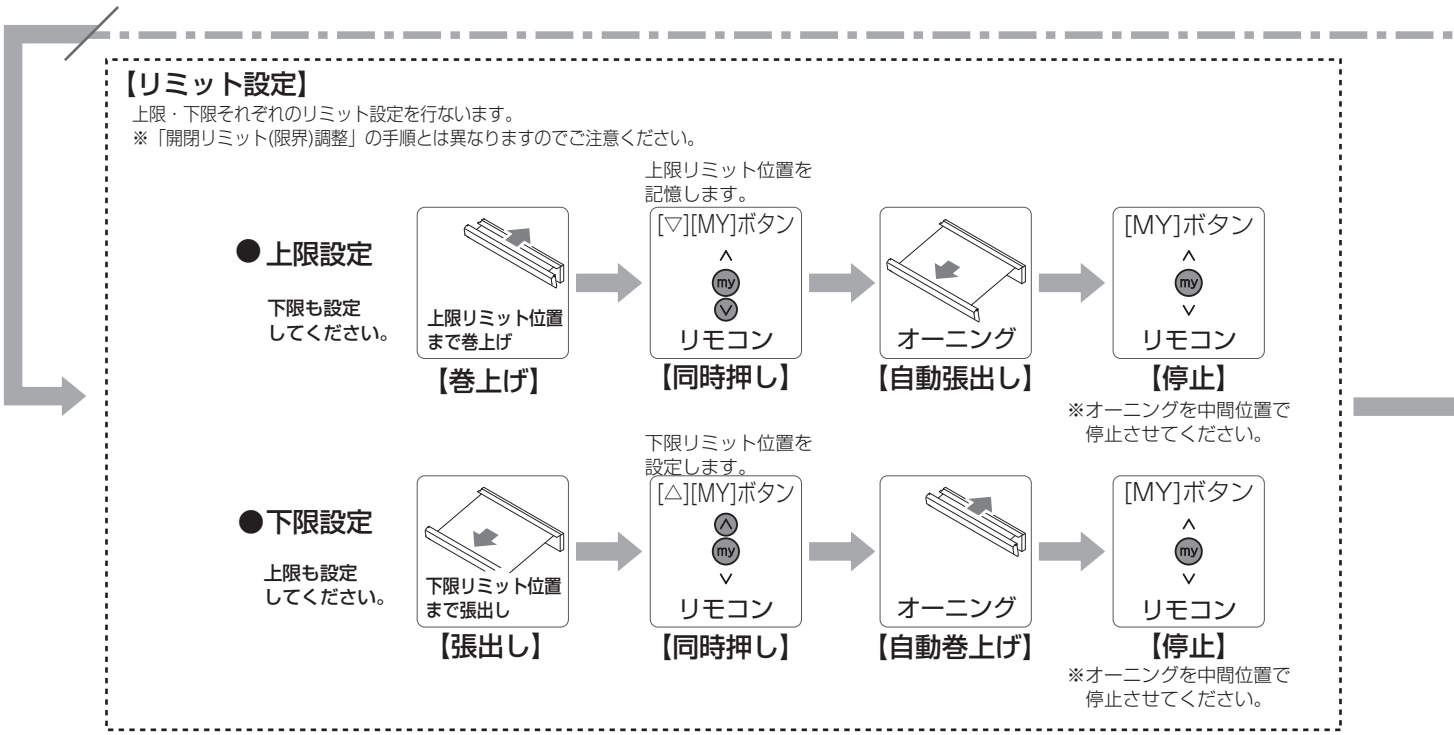
リモコンのオールクリアと再設定方法

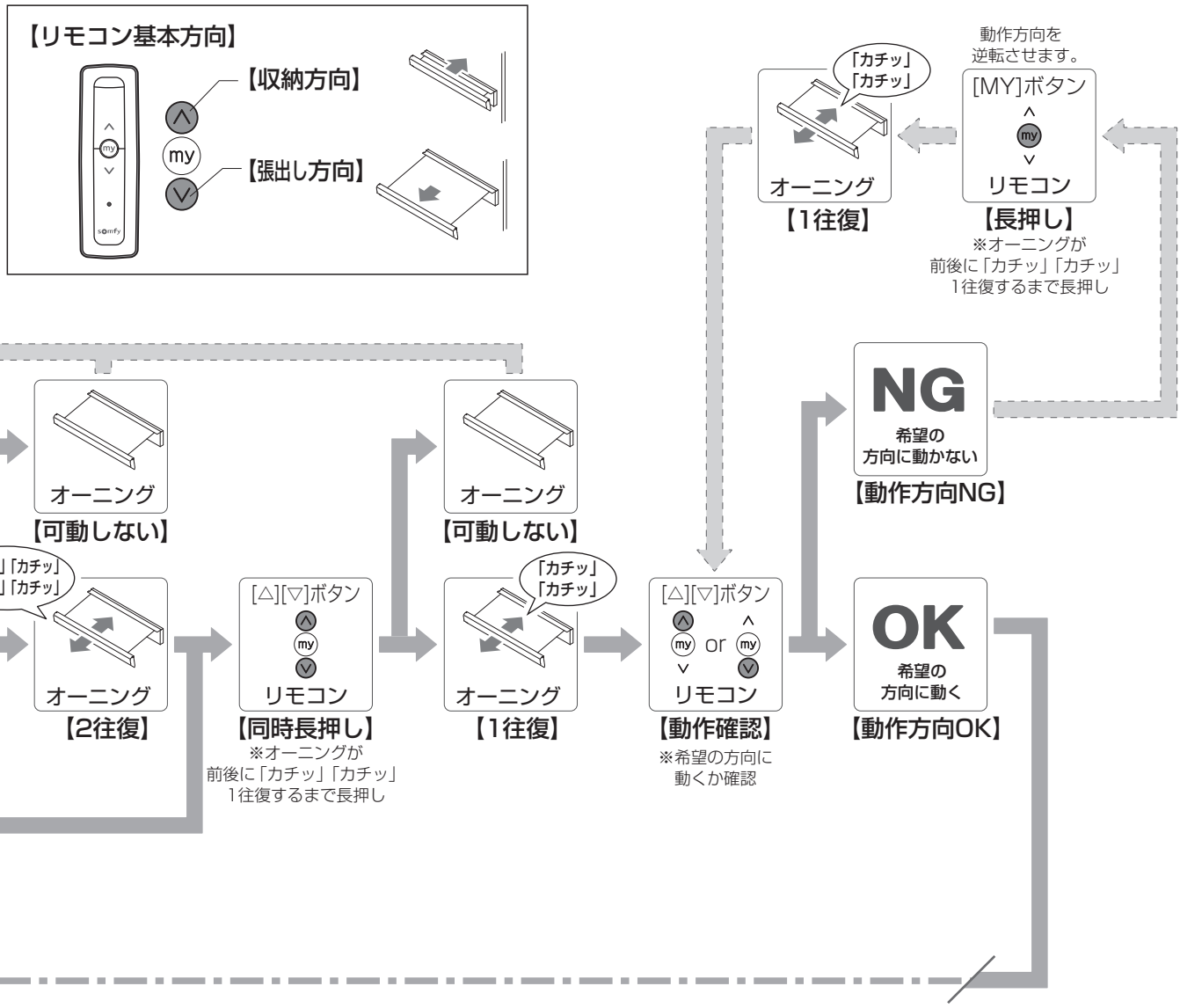
電動リモコン式

ポイント

- ●通常の組立て時に行なう必要はありません。
- ●**「リモコンを押しても動かない場合」や「リモコンのボタン操作を逆にする場合」「思うように設定ができない場合」**は本手順を行なってください。受信機に記憶されている情報を全て消して無設定状態にすることができます。
- ●オールクリアした時は1回のボタン操作でオーニングは約5秒間だけ動きます。連続して動かしたい場合は少し時間をおいてボタン操作を行なってください。







MAN-270B_202511
M962_202511C

取説コード
M962
XXX017776
201507A_1039
202511C_1100